

CHIBA

ARCHITECTURAL

GRADUATE'S

PRIZE

1989-2018

30th anniversary

Contents

- 03 ごあいさつ 明智克夫
- 04 千葉県建築学生賞 30 周年を祝して 片山 律
- 05 千葉県建築学生賞 30 周年に寄せて 熊谷 俊人

- 06 なの花会の立ち上げについて 森田 敬介
- 07 公開審査に至った経緯について 古里 正
- 08 30 周年おめでとう！そして、ありがとう建築学生賞 柳田富士男
- 09 創立 30 周年に寄せて（新会場イオンモールへの移転の経緯について 神成 健
- 10 第 30 回千葉県建築学生賞の会長・審査委員長を経験して 中野 正也

ARCHIVE

- 12 第 21 回 (2009)
 - 13 ー 創立 30 周年に寄せて（受賞者の現在）遠藤孝弘
- 14 第 22 回 (2010)
 - 15 ー 創立 30 周年に寄せて（卒業後の現在について）佐々木理紗（旧姓小沢）
- 16 第 23 回 (2011)
 - 17 ー 創立 30 周年に寄せて（千葉県建築学生賞出展の経験から現在までの 20 代を振り返って）曾根岡 拓路
- 18 第 24 回 (2012)
- 20 第 25 回 (2013)
 - 21 ー 創立 30 周年に寄せて（旅のススメ）橋 聡子
- 22 第 26 回 (2014)
- 24 第 27 回 (2015)
- 26 第 28 回 (2016)
 - 27 ー 創立 30 周年に寄せて（受賞者の現在）中西芳樹
- 28 第 29 回 (2017)
- 30 第 30 回 (2018)
 - 31 ー 創立 30 周年に寄せて（受賞者の現在について「卒業設計から学んだこと」）小島帆南海

- 32 第 1 回 (1989) - 第 20 回 (2008)
学生賞の始まり 麓 佳正

NANOHANA - KAI（なの花会）

- 44 千葉県建築学生賞創立 30 周年に寄せて 岡松利彦
- 45 On the Way 佐久間 達也
千葉県建築学生賞 30 周年に寄せて 皆川拓

Support member & Patron & Sponsor

- 46 歴代委員
- 48 歴代後援 歴代協賛

ごあいさつ

千葉県建築学生賞がお陰様で創立 30 周年を迎えることができました。

大変光栄であると同時に歴史の重さに大きな責任を感じて居るところです。

本学生賞は、日本大学名誉教授・若木滋先生のご指導のもとに、平成元年にスタートした卒業設計の表彰制度であり、まさに全国に先駆けての卒業設計コンクールでした。

当初は 4 大学 5 学部でのスタートでしたが、現在は 7 大学 12 学科と倍増し、建築科をもつ高校及び専門学校からも出展頂いております。

学生賞は建築家を目指す優秀な卒業生にエールを贈ること、産学の交流を深めること、更に作品の公開によって一般市民に広く建築に親しんでもらうことなどが最大の目的であります。回を重ねるごとにその内容も進化多様化し、わが国が抱えている様々な諸問題に果敢に取り組む姿勢に共感を覚えるとともに、建築家としての最初の第一歩を踏み出した学生たちの今後の成長が大いに期待されるところです。

そして、わが国の建築文化、都市景観のさらなる進展を図るとともに、広く地球環境問題に思いを馳せ、豊かな国土づくりに貢献できる建築家に成長して頂きたいと念願して止みません。

本学生賞の受賞者たちが、その後、社会に巣立って輝かしい仕事を重ねている姿を拝見するにつけ、私たちが苦勞と時間をかけてきた甲斐があったと、つくづく満足感を覚えておるところです。

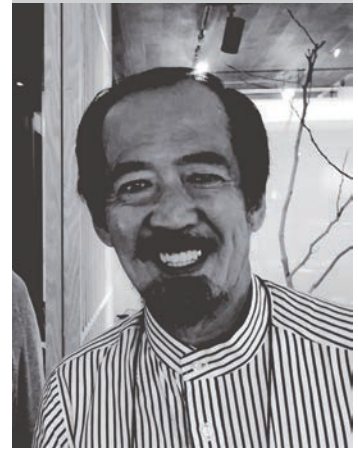
また、20 周年を機に、受賞者で構成する「なの花会」がスタートし、審査委員の派遣のほか本事業運営に積極的に関わって頂いており、本学生賞の未来への継承と発展が大いに期待されておるところです。

30 年間にわたって本事業にご協力を賜りました各大学並びに高校の先生方のご尽力に対しまして深甚なる感謝を申し上げますとともに、長年にわたって本学生賞を支えて頂きました建築 4 団体、並びに「なの花会」の皆様、更に、物心両面から多大なるご支援を頂いて参りました賛助会の皆様方に深く感謝申し上げます、本事業が将来にわたって長く継続され、わが国の建築文化発展に貢献されますようご祈念申し上げます。

千葉県建築学生賞創立 30 周年記念実行委員会 会長 明智克夫



千葉県建築学生賞 30 周年を祝して
千葉工業大学工学部建築都市環境学科
教授 片山 律



将来を切り拓け：輝かしい未来を願って

1. 30年前は

小生は、33年前千葉工業大学 建築学科に助手として赴任いたしました。その後1~2年経って恩師の関龍夫教授、千葉四会の麓 佳正様よりこの学生賞のことを知り、お手伝いが始まりました。当時は作品集会場が、千葉工大の製図室で、そこから隣のサンペデックビルのエントランスホール（現モリシア）に、何度も学生作品を運んだ思い出があります。あれから30年、多くの千葉四会の方の持続的ご努力のお蔭であると、教員の一人として感謝致しております。

2. あれから30年が経過して

その意味を考えてみました。今では多くの各県建築士会、建築家協会などが協力して学生の作品展が多くありますが、30年前はまだまだでこのような学生の作品を顕彰する機会は少なかったと思います。千葉四会諸兄の、学生の未来を見つめた建築界への招待状を配布しようとする主催行為の意味は素晴らしいものと思います。汗水たらして取り組んだ卒業設計を真剣に見つめ直していただいて、多くの意見をいただける作品展、こんな素晴らしい機会を30年の永きにわたり継続していただいている事務局のご努力に改めて感謝いたします。

3. エントリーは、建築界への第一歩

この記念誌を読まれる皆さんは、振り返って卒業制作の完成に向けたあの頃は、厳しい毎日の連続に明け暮れた日々が強く思い出されることと思います。その生みの苦しみを考えましたら、実社会での戦いもきつと乗り越えられると思われまます。さて卒業設計は、どのような意味を持っているのか考えてみましょう。毎年のように学生たちに贈る言葉ですが、以下の2点から考えますとやはり社会に出るための建築家への意味のある登竜門であると考えます。

〈企画立案作成から完成まで全てを、自分自身が行うこと〉卒業設計は、自分自身の建築に対する辛辣な提案行為でした。建築の設計行為は、社会に対する提案で、その提案に自らが手を上げて計画したユートピアであったのです。だからこそ課題設計とは性格を異にするのです。

〈今の提案が、社会にどのような意味を投げかけるのか〉その問いかけが、あなた自身の未来への予兆でもあるのです。出来上がった作品を、審査会で評価していただいた時の諸先生方からの意見はいかがだったでしょうか。それぞれの学生賞の提案は4年間の集大成でありその提案が社会にとってどのような意味を持つのか。近い将来実現されるであろうことへの意味性や到達性、実現性が自分の糧となり肥やしとなってきたのです。

以上のような点からしても卒業設計は建築社会への登竜門であり、だからこそ大変重要な意味を持っているのだと思います。どうか、卒業設計に燃やした貴方自身のこのエネルギーを実際の建築に応用し、輝かしい未来の建設に向けて努力し続けてください。

4. 歴代事務局への感謝の気持ち

学校を代表して展示して、批評・講評を受けることが、どれだけ大切かを自覚して社会に出て行くことの素晴らしい体験をもう一度思い出して、千葉四会事務局の皆さんに感謝いたしましょう。

5. 継続は力です

どうか未永い、学生賞の継続を願うと共に、その力は、建築界への大きな発展力であると信じます。「継続は力」言われますが、続けることの重要性、弛まず挫けずに続けていくことの大切さを再認識し、個々の成果は微々たるものであっても、地道に成果を積み重ねていけば、やがて大きな目標を達成できるのです。その力は、確かにこの千葉の地から全国の建築界に発信し続けられているのです。30周年 本当におめでとうございました。

千葉県建築学生賞 30 周年に寄せて
千葉市長
熊谷 俊人



この度、千葉県建築学生賞が創立30周年を迎えられましたこと、誠に喜ばしく、心からお祝い申し上げます。また、長年にわたり運営にたずさわってこられた千葉県学生賞協議会をはじめ関係者の皆様のご尽力に心から敬意を表します。

千葉県建築学生賞は、全国に先駆け創設された、建築家を目指す学生たちの卒業設計の発表及び表彰の場として、30年の長きにわたり学生たちの課題へチャレンジする意欲の向上と創造力の醸成に貢献されております。

応募作品はどれも斬新な発想と熱意にあふれており、第一線で活躍されている建築士の皆様にとって、よい刺激的となるとともに、一般の市民の方々にも、建築という専門的な分野を身近に感じられるよい機会となっております。

また、近年の出展作品の中には、高齢化社会やヒートアイランド、住宅ストックの活用といった社会問題をテーマに掲げ、それを発想の起点とした作品も多く、その課題意識の高さがうかがわれます。

千葉市におきましても、都市機能の転換期を迎えており、これまでと違った発想でまちづくりを進めていく必要があります。変化が早く、多様化する社会においては、千葉県建築学生賞に応募された作品のような柔軟で新しい発想は、今後のまちづくりにおいてますます重要となります。

そのような中で、独創性に富む建築家の育成につながるこのような取組みを継続していくことは建築文化の向上や発展に寄与するものであり、大変心強く感じるとともに、千葉県建築学生賞をステップとして、創造力豊かな学生たちが社会へ飛び立ち、将来にわたり、まちづくりの一翼を担っていただくことを大いに期待しております。

結びに、千葉県建築学生賞に応募された皆様、並びに関係者の皆様のますますのご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉いたします。



第 20・22 回千葉県建築学生賞 会長
森田 敬介

広がる学生賞の価値と「なの花会」設立の経緯

私が千葉県建築学生賞に委員としてお誘い頂いたのは第9回
の時、当時はまだ建築四会学生賞と呼ばれており、もちろん
今のような公開審査ではなく、社会的にもボランティアや公開
性といった概念が未成熟であり、少なからず「やってあげてい
る」という感覚があったように思います。当時は分業制でなく
会長や審査委員長は非常に時間的な負担が多かったし、審査で
は審査員が自分のプライドを懸けたような面もあって真剣にや
りあう審査のシーンは、公開審査が常態化した現在よりも刺激
的であったように感じることもまた事実です。今後の学生賞に
はこうした熱い生々しい審査を期待しています。

大学との協働は作品出展や表彰式への参加など大学側の反応
は良い時期ばかりではなく、14回～15回ぐらいの学生賞協議
会でそれが話題となり、協議会の審査員による審査だけでない
評価を設ける事になって任務により私が担当し2つの新たな価
値を企画しました。

具体的には、作品展示会場に来場した一般市民に投票とコメ
ントを頂く「市民の声」を第16回で実行した事と、第17回
では建築家でない著名人が審査する「特別審査員賞」を創設し
ました。※市民の声は現在も「市民賞」として残っており特別
審査員賞はモンキー・パンチで好評を博し、以降6回続きました
が現在では行われていません。千葉県の学生賞はこのように
して、時代に応じて価値を考えて広げてきました。

さて学生賞が第20回を迎えた平成20年、これまでの20回
を総括して記念誌の発行と20周年記念式典の開催が決定し、
この記念すべき年に会長を拝命することとなりました。
協議会の歴代会長会を中心とするプロジェクトチームでは、こ
れから続いてゆくための何か新しい企画を発信しようという方
針が挙がっていました。一方、記念誌の編集作業で、第1回か
らの作品写真やコメントを集める必要性から、時間をかけてこ
れまでの出展者の連絡先を調べ、少しずつ連絡がとれるようにな
りました。

各年代の受賞者を核に歴代出展者の輪を広げて学生賞の運営
に関わってもらえば、従前の「学生たちにエールを送る」とい
う学生賞コンセプトの未来に、立派な社会人に育った過去の学
生が今度は自分が学生たちにエールを送る・・・という循環が

継続され『次代を育てつづける』という新たなコンセプトが描
けるのではないかと。こんな発想から「歴代出展者の会」の立ち
上げに向けて奔走することになりました。

立上げ時は多くの打合せが予測されるので、社会人になって
日が浅い若者の協力は困難であろう事や、金賞受賞者ならこの
心意気に賛同してくれるものと踏んで、金賞受賞者は年代順に
声をかけさせて頂き、日もないので熱弁して説得したことを覚
えています。

結果としては第1回金賞の岡松さん、第2回の佐久間さん、
第3回の矢野さん、何れも設計事務所を開設されていて、途中
から第6回の関谷さんも参加して、この4名を頼りに会のあり
方を検討しました。第19回の皆川さんという、若いながら主
旨をよく理解してくれた強力なスーパー幹事がいたことも結果
に結びついた大きな要因でした。



立上げ会議を繰返す中でこの歴代出展者の会の意義にも討議
が深まり、単に学生賞への協力というだけでなく、出身大学や
所属企業にとらわれない建築の集まりにする意味でも折々で勉
強会や懇親会をおこなう会になりました。会の名前も「歴代出
展者の会」でなく、千葉の県花からイメージした『なの花会』
という素敵な名前になりました。

設立総会には23名の歴代出展者が参加してなの花会が設立
され、これ以降会の運営や審査員の輩出など、様々な面で学生
賞にはなくてはならない存在に育ちました。

私にもこんな会があったらイイナと思ったものですが、30
回以降も是非、学生賞だけに留まることなく人的にも技術的に
もフォローアップできる輪であって欲しいと願います。



第 23 回千葉県建築学生賞 会長
古里 正

公開審査に至った経緯について

私が千葉県建築学生賞に初めて参加させて頂いたのは、第14回でした。当時、作品のプレゼンテーションは公開されていましたが、審査員同士の議論や投票などは別室で行われていて、学生たちには各賞の結果のみが知らされていました。

私は当初から「公開審査の方がよいのでは・・・」と訴えましたが、当時は「学生を傷つけることはできない、学生にエールを送るといった趣旨に反する・・・」とう答えが一般的でした。それから数年後、私が審査委員長の内示を頂戴したとき、「公開審査」を条件にその役職をお引き受けしました。あまりフェアなやり口ではありませんでしたが、それでも「公開審査」を実現したいと思っていました。それが初めて実現したのは第21回でしたが、そのときは会場の都合で展示会場とは別な会議室での公開審査であったり、また審査委員長がコーディネーターを兼任していたりと今からすると随分と未熟な内容だったと思います。第22回からは会場を「きぼーる」に移し、多くのメンバーのご協力のもと現在の公開審査の枠組みが出来上がったと言えるでしょう。



コンペやコンクールの大きな目的は「優秀な作品を選出すること」にあります。それ以前に重要なのは「負けた者を納得させること」だと思います。参加者に審査の「公正・公平」を理解して頂かないと、それ自身が継続しえないのです。本賞の場合も「公開審査は時代の要請だった」と言えばそれまでですが、結果として学生や各大学等の先生方にも「公正・公平」を概ねご理解頂くことができたと感じています。また「公開審査」のもう一つの目的は、社会の中でコンペやプロポーザルなどが

日常化して行く中で、常に戦う姿勢を持った建築家を育てることです。このことはその結果を検証するにはもう少し期間を要するでしょう。

他方、「公開審査」は良いことばかりではありません。「多くの聴衆を前に審査員同士の議論が脆弱化してしまうこと」や、「イベントの運営にそれまでとは比べものにならないほど多くのマンパワーを要すること」などが差し迫った課題であると思われます。第16回からラージファーム所属の建築家や第21回から構造設計者・「なの花会」メンバーに審査に加わって頂いた以上に、時代に対応した審査の枠組みや会の運営のあり方は常に模索が必要でしょう。

最後に、千葉県建築学生賞の運営に参加させて頂いている一人として「なの花会」メンバーが社会の中で建築家として活躍なさる様子を接し、本当にうれしく感じています。





第25回千葉県建築学生賞 会長

柳田 富士男

30周年おめでとう！そして、ありがとう建築学生賞」

17年前、千葉市中央図書館・生涯学習センターがオープンし、アトリウムガーデンが会場となってから、設計者であり千葉市在住という事で審査員を務める事になりました。

県内アトリエ建築家による審査体制に、組織事務所の人間が入ることには異論もあった様ですが、影の会長であるT氏の強い推薦と力技で前例を破ったと聞きます。

「風水とは新しい風と水を入れて変化、成長する」彼のそんな言葉が記憶に残っています。

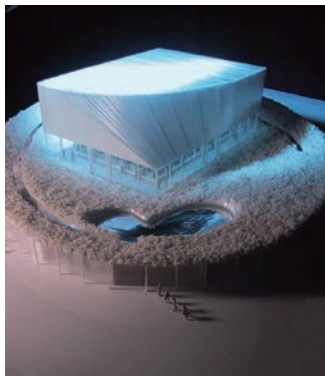
以後、新しい風と水に相応しい友人、そして仕事を通じてのライバルであるアトリエ、組織事務所のデザインリーダーを審査員として招き、審査に厚みを加える事になりました。

中央図書館・生涯学習センターでは、20周年を挟み7年間会場となり、施設柄訪れる人も、一定の興味を持ち盛況でしたが、アトリウムという環境もあり、光の降り注ぐ明るい環境の展示空間の一方で、風の強い日には、模型やパネルへの影響から正面入り口を閉めるという事もあり、展示スペースとして想定外の状況に設計者として学ぶ事も多々ありました。

審査は3階会議室で審査員同士のディスカッションと投票で各賞が決められました。

各審査員の基準が異なるのは当然としても、多種多様な視点と考え方は「審査という客観性」と、「建築家としての個性」を強く考える機会となりました。卒業設計といういわば「未完のつぼみ」から「作者の熱意と創造力」を汲み取って、「将来の可能性＝花」を推測、評価するという視点を基準に、「社会性＝建築のミッション」を強く意識して審査しました。

特に印象に残るのは、初めて審査員を務めた年の「RE ARENA」という作品です。体育館の避難所機能というテーマに具体的提案を挙げて、美しく魅力的建築に仕上がっていました。東日本大震災での著名建築家の提案を、当時の学生が先取し



ていた事、また、審査のエピソードとして、最終選考で私が推した時に、翔設計の荻原さん（故人）が共感して推してくれた事が受賞につながり、全国で銅賞を取ったことも記憶を彩ります。

以後、審査委員長、会長を務めるまで12年間にわたり審査に関わってきましたが、この間学生の作品から学ぶことも多く、社会問題への真摯な取り組みや、型破りな、またきらめく様なアイデアに感銘を受けると共に、社会性を追求するが故に「合理性」や「調和」等ポジティブに進もうとする自分の作品への「叱咤」を含めて、良い意味で刺激になりました。

「有難う、千葉県建築学生賞！そして次の10年に向けて変化、進化の期待を込めて」30周年に、お礼とエールを送りたいと思います。



第 29 回千葉県建築学生賞 会長
神成 健

新会場イオンモールへの移転の経緯について

結果的には無事終わった第 30 回の千葉県建築学生賞であったが、ギリギリまで開催会場が決まらずその道のりはかなりの冷や汗ものであった。恒例により前年度会長は次の年の会場を手配するという暗黙の責務を負う。例年は「きぼーる」に申込み書を出すだけで良いのであるが今回は大きく違った。年末から改修工事が予定されており、早い段階で翌年の学生賞開催日には貸し出し NG という回答であった。それではということで第 21 回までの会場であった千葉市生涯学習センターへ照会してみると、同様に改修工事のため貸し出せないとの回答。担当部署の千葉市生涯学習課に数回足を運んだのだが、工事の入札が不調に終わる可能性もあり、余裕をみたくて貸し出せないとのこと。千葉市美術館も予定日は恒例の市民展があり NG、千葉市文化センターも予約で NG、その他候補に上がった 4、5 箇所の施設も条件的に NG。8 月の段階ではこれでもかの五里霧中の状況であった。その旨を定例の準備会議にて報告した。会議での意見は今回記念大会でありある程度の貯めはあるのだから、民間の会場例えば幕張メッセなどでバーンと使ってもいいのではというものから、会の趣旨から言っても会場費は出せないのとお客さんが来なくても費用のかからない田舎の公民館を探せばというもので。意見を聞くと皆人事のようで収集がつかなかった。

その頃、ちょうど千葉駅の上に手頃な大きさの貸しホールができるという情報があり、場所も良いということから一瞬期待感が高まったのだが、1 日数十万の賃料ということでこれも無理であった。

9 月になると学生さん向けの募集要項には当然ながら開催場所を記載しなければいけない。ギリギリの時期になり、前職（N 設計）の都市計画部門にいた同僚がイオンの開発本部に移っているのを思い出し駄目元で連絡してみた。海浜幕張のイオンモールにちょうど良い規模の新しいホールがあるのだが、HP をみると相当な賃料のため最初に諦めていたものだ。

ところが、彼から届いた回答は公共性があり地元の地域文化の貢献になる催しなら、安くていいので使って欲しいとい

うもの。それもこちらで遠慮がちに提示した額の半額で。それから話はダーと進んだ。

ピンチをチャンスに変えるとはこのことかなーと実感。

30 回記念の会は新たな場所の中野会長兼審査委員長以下関係者皆の活躍もあり、大成功で終えることができた。





第30回千葉県建築学生賞 会長
中野 正也（第9回出展者）

第30回千葉県建築学生賞の会長・審査委員長を経験して

このたび千葉県建築学生賞創立30周年を迎えられましたこと、心から嬉しく思います。僭越ながら、去る3月9日～11日に開催された、その節目となる「第30回千葉県建築学生賞」の会長・審査委員長を務めさせていただきました。私自身が第9回の出展者でもあり、出展者の会「なの花会」が設立された後、第21回から審査員などの委員として学生賞に関わらせていただいておりますが、これまで10年間の経験・感想をここでは振り返ってみたいと思います。

第21回に初めて実行委員（審査委員）として関わらせていただいて、最初に驚いたのが、3月の卒業設計イベントの為の準備に「こんなにも早い時期から」「これほどの人数の方々」「こんなにも時間をかけて議論」をしていただいている。ということにとっても驚いたのを今でも覚えております。それから、この年から公開審査になったということもあり、審査のプロセスや評価方法などについて入念に確認し合い、時には意見がぶつかったり議論をしたことも印象に残っております。2期目の第22回以降は、会場がこれまでの「千葉市生涯学習センター」から「Qiball(きぼーる)」となり、より多くの一般(市民)の方々がイベントに興味を持ってくださるきっかけになったと思います。数年前、市民賞(市民アンケート)担当をさせていただいた時に、来場者の方々からご意見を多く聞けたのも良い経験となりました。以降、断続的に何らかのかたちで学生賞には関わらせていただくことになるのですが、大学で設計課題指導などを日常業務の合間に行っていたり、学生の設計作品に触れることには興味・関心があったこともあり、微力ながらも学生賞のそして学生達のお役に立てればなという想いで、あっという間に10年経ち、今に至っております。

会長として挑んだ「第30回千葉県建築学生賞」に関しては、『歴史ある千葉県建築学生賞の、第30回という節目の“会長”を任せていただいたからには・・・』という張り切った気持ちと「新旧混成しながら進化させる」という想いで、2つの新しい試みに取り組みました。“ひとつめ”は、(これまでの会場が使えないという事情があったとはいえ)「新しい会場として、商業施設であるイオンモール幕張新都心グランドモール内“イオンホール”で開催する」ということです。例年の数倍となる1000人を超える方々にご来場・見学頂き、大盛況なイベントとなりました。そして“ふたつめ”の試みは、「高校から大学までの公開審査と表彰式、懇親会までを1日で実行・完結する」ということです。

公開審査になって今回で10年目となりますが、これまでは、開催期間の3日間を、「①初日は展示」「②2日目に大学の審査と懇親会」「③最終日は高校の審査と表彰式」というプログラムにしていたのですが、今回は思い切って「②と③」を合わせ、土曜日のみ1日で実行するという形式に変更しました。まだまだ改善すべき点はあるものの、これまで最終日にしか来場できなかった高校生や来賓の各団体の会長、指導教員の先生方など多くの関係者の方々が公開審査の場に参加していただけたことは、とても良い結果につながったと思います。特に30回は、“新米会長”であったが故に、実行委員の皆様には、例年以上の多大な協力をいただくことになってしまったこと、改めて深く感謝申し上げたいと思います。

最後になりますが、次の31回目も新たな気持ちで、そして記憶に残る「回」として開催できるよう、これまでを継承し、良いバランスで新旧混成しつつ、さらなる改善・進化に挑みたいと思います。

ARCHIVE

21th - 30th

2009-2018

heisei21-30

1st - 20th

1989-2008

the 21st 2009 Heisei.21

最優秀賞

遠藤 孝弘 日本大学生産工学部建築工学科

国境博物館

(JIA 全国大会出品)



優秀賞

和田 彦丸 千葉大学工学部デザイン工学科建築系

close court 裁判員の為の裁判所

(JIA 全国大会出品)



村山 圭 東京理科大学理工学部建築学科

或いは奥という名の消失

(JIA 全国大会出品)



特別賞

鈴木 雅也 千葉大学工学部都市環境システム学科 (特別審査員賞)

カゼノトオリミチ 視覚欠如における都市と建築の可能性

馬場 亮平 千葉大学工学部デザイン工学科建築系

湖の教会 浄化するスイミングプール

稲吉 匠哉 千葉工業大学工学部デザイン科学科

SCAPE MATRIX 回生と解体による空間の永続性

奨励賞

浅野 佳菜 千葉大学工学部都市環境システム学科

かもがわせかんどらいふ 高齢期における自立生活を維持する方法

(なの花賞) (特別審査員賞)

神 厚志 明海大学 不動産学部 不動産学科 環境デザインコース

東京サンゴ ~海と陸をつなぐ場所~ 「日の出地区の再開発」

上條 経伍 日本大学理工学部海洋建築工学科

繋げるカベ 羽田地区における木造住宅密集市街地再開発手法の提案

爲季 仁 日本大学理工学部海洋建築工学科

層が呼吸する小学校 自然環境としての小学校の提案

峰岸 啓介 日本大学理工学部社会交通工学科

東京オリンピック拠点計画 水と緑と風の湾岸構想

三橋正典+寺井好 日本大学理工学部社会交通工学科

横田基地軍民共用化に伴う空港ターミナルのデザイン

船橋 武雄 東京電機大学情報環境学部情報環境デザイン学科

Lateral Society I

(特別審査員賞)

船瀬 瞳 東京理科大学理工学部建築学科

heya (へや)

関 佳子 日本大学生産工学部建築工学科

佐渡の修景 荒海や佐渡に横たう天の川

永山 新一朗 東京電機大学情報環境学部情報環境デザイン学科

CROSS 境界を超える学校

玉置 俊浩 千葉工業大学工学部建築都市環境学科

学校につめこむ 郊外における合築

中野 裕子 千葉工業大学工学部建築都市環境学科 (特別審査員賞)

Gradual Connection Redevelopment of Jiyugaoka station and the plaza

和田 翔太 東京電機大学工学部第一部建築学科

Gradation Wall

安部 裕美 東京電機大学 工学部 建築学科

Four Slits 外とつながる、中でもつながる大学。

審査委員長 古里 正
審査委員 柳田富士男 飯島茂信 柳瀬寛夫 信太義晴
安達文宏 竹下章治 中野正也
特別審査委員 モンキー・パンチ (漫画家)

学生賞協議会会長 星野 治
(会場 千葉市生涯学習センター)

高校・専門学校の部

金賞

蔣 美喬 千葉県立市川工業高等学校建築科
国際平和村

銀賞

後藤 李里 千葉県立市川工業高等学校建築科
ヒキダシケンチク

土屋 夏美 国際理工専門学校建築設計科
くるり (特別審査員賞)

銅賞

古川 リベカ 国際理工専門学校インテリアデザイン科
くっつけ chair (ちゃえ)

岡丸 インマヌエル 国際理工専門学校建築設計科
私の教会

小泉 勇也 国際理工専門学校インテリアデザイン科
ていらみす (特別審査員賞)

奨励賞

阿部 汐莉 千葉県立市川工業高等学校建築科
図書館

伊藤 匠 千葉県立東総工業高等学校建設科
[集束] する [情報] と [交流]

丸田 輝 千葉県立京葉工業高等学校建設科
緑あるれる鎌倉の家 ~温かな想い 吹き抜ける風~

岩瀬 明日香 千葉日建工科専門学校建築 CAD 設計科
斎場と公園

宮内 晃弘 千葉県立東総工業高等学校建設科
みんな友達 みんな仲良し

黒木 元気 千葉県立京葉工業高等学校建設科
房州団扇

山奥 朗弘 千葉日建工科専門学校建築 CAD 設計科
~海中散歩~

松丸 美砂江 千葉県立市川工業高等学校建築科
ビックママ

泉水 輝 千葉日建工科専門学校建築 CAD 設計科
三次元公園

田中 里奈 国際理工専門学校建築設計科
House from House

鈴木 礼奈 千葉県立市川工業高等学校インテリア科
Life × Like

矢城 寛和 千葉日建工科専門学校建築 CAD 設計科

ウォーターフロントアートミュージアム

藺牟田 恭成 国際理工専門学校建築設計科

八千代自然博物美術館

創立30周年に寄せて (受賞者の現在)

遠藤 孝弘

大学4年生の卒業間近の冬、私は研究室に泊まり込みで卒業制作に没頭していました。長い月日の中で思い描いていたものが形になっていく日々はとても充実した日々でした。

私の卒業設計の『国境博物館』は建築で世界を平和にすることができるかと信じ続けた形です。

10年たった今でも大好きな作品です。

『国境博物館』を通してたくさんの仲間たちに出会い、忘れられない濃厚な日々を過ごしたと思います。

大学院を経て以降、住宅を中心に建築の意匠設計をさせていただきました。実際にクライアントと話し、基本設計、実施設計を経て、工事が始まり、引き渡しまでにおおよそ一年前後かかります。建築は沢山の人の協力が必要で、決して一人だけでは出来ませんでした。一瞬ではなく、長い月日の中で思い描いていたものが形になっていきました。その想いは卒業設計で感じたものと似ていたと思いますし、これこそが最大の建築の最大の楽しさなのではと思っています。

現在は建築業界から一度離れ、家業を継ぐための準備を進めています。建築の世界に戻るのはいざらしく後になりそうですが、卒業設計に励んでいた日々をいつも胸にこれからも過ごしていこうと思います。



the 22nd 2010 Heisei.22

最優秀賞

小沢 理紗 東京電機大学工学部建築学科
modulation hospital



優秀賞

竹田 純平 千葉大学 工学部デザイン工学科建築系
増幅と侵食 -変容する建築- (特別審査員賞)



山上 仁 千葉工業大学工学部建築都市環境学科
反応する建築 (JIA 全国大会出品) (特別審査員賞)



特別賞

大沼 慈佳 日本大学生産工学部建築工学科
難民都市 - 500人のシェアハウス- (JIA 全国大会出品) (特別審査員賞)



奥迪 萌 千葉大学工学部都市環境システム学科
ずっと、このまち 支え合って暮らし続けるまちなかケアの提案 (JIA 全国大会出品) (特別審査員賞)



奨励賞

永田 陽子 日本大学理工学部海洋建築工学科 (市民賞)
賑わいが混じり合う ~下北沢における「路地空間」の立体的利用と再生~



審査委員長 古里 正
 審査委員 信太 義晴 柳瀬 寛夫 安達 文宏 中野 正也
 山下 勲 竹下 章治 関谷 和則
 審査コーディネーター 柳田 富士男
 特別審査委員 大橋 富夫 (建築写真家)
 学生賞協議会会長 森田 敬介
 (会場 千葉市 Qiball きぼーる)

- 熊谷 幸亮** 千葉大学工学部都市環境システム学科
 集積する集落美術館 飯田市中心市街地の再開発における集住の可能性
- 清水 信吾** 日本大学生産工学部建築工学科
 季節とともにかわる建築
- 大古 剛** 日本大学理工学部社会交通工学科
 広島オリンピックシンボル計画 国家危機管理機能を備えた湾岸構想
- 坂爪 佑丞** 千葉大学工学部デザイン工学科建築系
 地形都市のためのスタディ Study for the Topographic City
- 安藤 司** 東京電機大学情報環境学部情報環境学科
 アートシークエンス
- 上坂 勇樹** 千葉工業大学工学部建築都市環境学科
 Green Spiral 都市型公園
- 東木 宏樹** 東京電機大学工学部建築学科
 まちのあしあと kikkoman park (キッコマン パーク)
- 上島 直樹** 千葉工業大学工学部デザイン科学科
 街を織り込み、都市を繋ぐ 線路跡地における複合施設の提案
- 鴨志田 航** 日本大学理工学部海洋建築工学科
 つがいの建築 / 美術館 / 都市
- 前田 秀人** 東京理科大学理工学部建築学科
 『angle』
- 滝沢 佑亮** 東京理科大学理工学部建築学科
 無尺度の世界

高校・専門学校の部

金賞

青木 敦 国際理工専門学校建築設計科
 浮ヶ丘公園自然観察センター

銀賞

角田 奈通子 国際理工専門学校建築設計科
 personal color (特別審査員賞)

銅賞

吉田 穂奈美+石川美沙+日暮勇太
 千葉県立市川工業高等学校インテリア科
 和洋邸

戸上 恭平 千葉日建工科専門学校建築 CAD 設計科
 Art & Science

竹蓋 良次 国際理工専門学校建築設計科
 空を歩く (特別審査員賞)

石澤 太亮 千葉県立市川工業高等学校建築科
 専門高校再生計画 (特別審査員賞)

奨励賞

李 嘉潤 国際理工専門学校インテリアデザイン科
 Natural modern Weekendhouse

福田 茂昭 千葉県立京葉工業高等学校建設科
 TIME PASSING

崎山 将太郎 千葉県立東総工業高等学校建設科
 UNDERNEATH THE TREE

石橋 康夫 千葉日建工科専門学校建築 CAD 設計科
 Circus Cuatro Avenue

飯名 悠生 千葉県立市川工業高等学校建築科
 森林再生計画拠点

創立 30 周年に寄せて「卒業後の現在について」

佐々木 理紗 (旧姓小沢)

ワークステーション一級建築士事務所勤務

千葉県建築学生賞創立 30 周年心よりお祝い申し上げます。
 当賞に参加した大学 4 年時から約 8 年経過しましたが、
 最優秀賞を受賞したことは、今現在でも自分の大きな励み
 になっています。

全身全霊をかけた卒業設計に対して、第一線で活躍する
 建築家の方々に評価いただけたからです。

私は大学院卒業後から現在まで、高橋晶子+高橋寛主宰
 のワークステーション一級建築士事務所に勤務していま
 す。学生時には経験しなかった意匠・構造・設備の調整や
 デティール検討など、厳しい指導を受けながら、学校・
 テレビ局本社の事務所ビル・美術館など多岐に渡る業務を
 経験することができました。小規模の設計事務所のため、
 一度に抱える物件数は多くありませんが、その分ひとつつ
 とつの仕事に納得行くまで関わることができています。
 そろそろ独立を考えていますが、これからの建築家に求め
 られる仕事は設計業務だけではないと日々強く感じていま
 す。「人々の生活をよりよくするため」にソフト・ハード
 ともに提案できる事務所を夫 (設計事務所勤務) とともに
 目指す予定です。

末筆ながら、この千
 葉県建築学生賞が今後
 も多くの学生たちの目
 標となるよう、益々の
 ご発展をお祈りしてお
 ります。



The 23rd 2011 Heisei.23

最優秀賞

矢野 健太 千葉工業大学工学部建築都市環境学科

都市の型枠

(JIA 全国大会出品)



優秀賞

杉田 陽平 日本大学理工学部海洋建築工学科

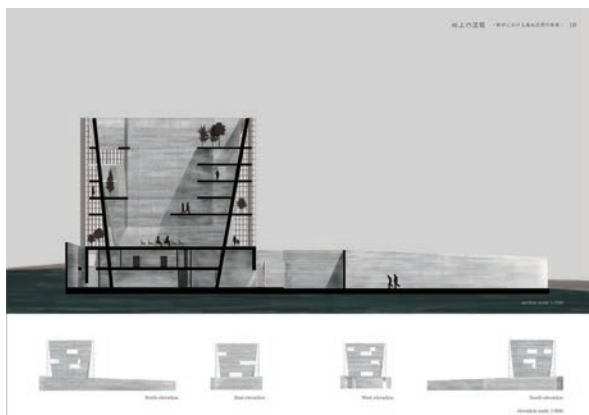
遷ろう風景 東京湾における散骨場



津村 祐輔 千葉大学工学部デザイン工学科建築系

地上の涅槃 都市における墓地空間の提案

(JIA 全国大会出品)



特別賞

立川 千夏 千葉大学工学部都市環境システム学科

祝祭空間 都市に劇場を据え付ける

松井 創斗 日本大学理工学部海洋建築工学科

街喰う建築 粘菌的建築手法の提案

(JIA 全国大会出品)

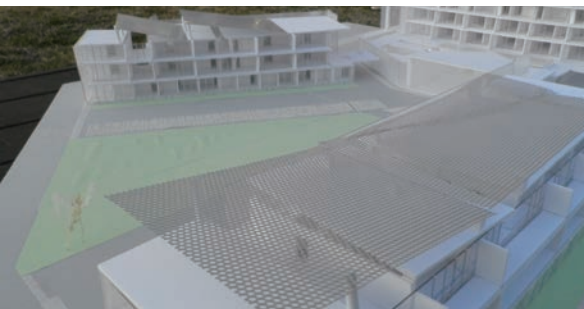


奨励賞

曽根岡 拓路 明海大学不動産学部不動産学科

街の災害保険になる集合住宅の提案

(市民賞)



細田 絵里子 東京電機大学未来科学部建築学科

猿島美術館

(特別審査員賞)

石黒 泰司 東京理科大学理工学部建築学科

おおきな空気の切り取り方。

大久保 勇樹 日本大学理工学部社会交通工学科

太陽エネルギー共生都市-スマートシティジャパン-

TJUNG IFANA 日本大学生産工学部建築工学科

Up

(特別審査員賞)

森下 雅裕 千葉工業大学工学部デザイン工学科

Art of Space 一輪の花の余白と連続

(特別審査員賞)

多賀谷 祐紀 日本大学生産工学部建築工学科

可変積敷 みんなの椅子

審査委員長 大岩 義充
 審査委員 柳田 富士男 山下 勲 矢野 裕之 青井 俊季
 林 美栄子 竹下 章治 関谷 和則
 審査コーディネーター 柳瀬 寛夫
 特別審査委員 此木 三紅大 (芸術家)

学生賞協議会会長 古里 正
 (会場 千葉市 Qiball きぼーる)

河西 孝平 千葉大学工学部都市環境システム学科

めぐりめぐる住宅地

—漁家集合のフラクタルな手法による郊外住宅地の再編—

林 敏嗣 千葉工業大学工学部建築都市環境学科

国の記憶と共に生き続ける人々

荒川 慎也 東京電機大学情報環境学部情報環境学科

symbiosis らせんがつなぐインクルーシブな小学校

諸富 太輔 東京理科大学理工学部建築学科

セキソウ

(特別審査員賞)

鶴海 秀一郎 千葉大学工学部建築学科

瞑想空間の解

山田 飛鳥 東京電機大学未来科学部建築学科

こども達の居場所 —今日はどこで遊ぶのかな—

石井 優也 東京電機大学情報環境学部情報環境学科

HUGE PLAY EQUIPMENT

高校・専門学校の部

金賞

石毛 潤也 国際理工専門学校建築設計科

折れ曲がる建築

(特別審査員賞)

銀賞

伊藤 雅規 千葉県立東総工業高等学校建設科

LIFE

銅賞

内藤 純佳 千葉県立市川工業高等学校インテリア科

大和なでして

斉藤 拓也 千葉県立市川工業高等学校建築科

Cloud

(特別審査員賞)

中村 昌代 千葉日建工科専門学校建築設計科

おにぎり〜繋がる温かさ〜

奨励賞

岩瀬 健一 国際理工専門学校建築設計科

終の住処

渡辺 裕也 千葉日建工科専門学校建築設計科

茂原駅と七夕祭り

野口 祐介 千葉県立京葉工業高等学校建設科

並木道 ~共に歩く道~

吉田 光太郎 国際理工専門学校建築設計科

古き近代の NEO NATURE

鈴木 岳志 国際理工専門学校インテリアデザイン科

Form

(特別審査員賞)

創立 30 周年に寄せて

千葉県建築学生賞出展の経験から現在までの 20 代を振り返って

曾根岡 拓路 所属: AE5 Partners

私は現在、都内の建築設計事務所設計、デザインの仕事をしています。業務は住宅、店舗、ホテル、マスタープラン、ランドスケープに関わる物など種類も豊富で良い経験をさせて頂いていると感じています。

今では大学入学時からやりたいと思っていた仕事に就き、充実した毎日を過ごしていますが、過去には不動産業、建築施工等の経験を積んで沢山寄り道をしました。

望んでいた設計の世界に飛込むことが出来たのは大学の卒業設計を第 23 回の千葉県建築学生賞に出展し、過去の出展者の会である「なの花会」のコミュニティを通じて沢山の情報と人に出会うことが出来たことが現在の状況に大きく結びついていると感じています。

私が出展した大会は会期の初日に東日本大震災が起こった年でした。その年、余震が続くなか私は地震関連の案を提案し、来場者の投票数で決まる市民賞を頂きました。これは学生時代の終わりに建築と社会のつながりを強く実感した出来事です。

この経験は当時、建築を仕事として頑張っていくだけの自信が足りなかった私の背中を押してもらって建築実務の世界へ飛び込む勇気になったと思います。

20 代を振り返ってみると、初めに思い描いた通りのかたちではないかもしれないけれど目標を見失わずに取り組んでいれば物事は必ず何らかの良いかたちで実現することが出来るということを実感しています。

創立 30 周年を迎えたことは大変嬉しいことであり、出展者側であった自分が今度は建築を志す学生たちに運営側から応援出来ることは大会への恩返しと思っています。これからも大会の活動に関わる方々から良い刺激を受けながら自分のルーツである会との繋がりを大事にしていきたいと考えています。



the 24th 2012 Heisei.24

最優秀賞

福井 亜啓 千葉大学工学部都市環境システム学科

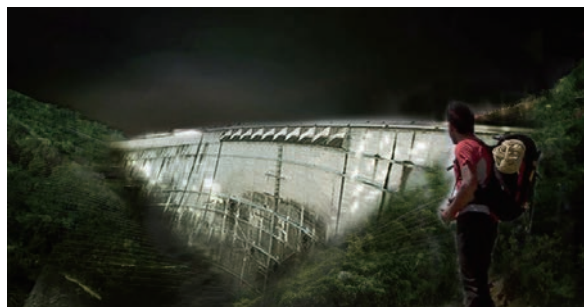
衰退する風景のためのスタディ (JIA 全国大会出品)



優秀賞

中島 康一郎 千葉工業大学工学部建築都市環境学科

更新するダム memory 廃ダムから建築へ (JIA 全国大会出品)



石原 幹太 日本大学理工学部海洋建築工学科

月島プリコラージュ 東京都中央区月島地域における複合集合住宅の提案

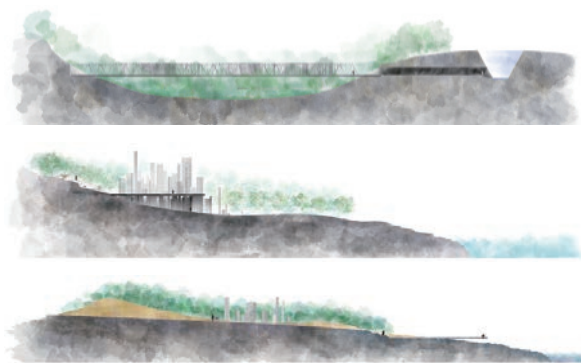
(市民賞)



特別賞

本橋 亜美 日本大学生産工学部建築工学科

繋一人を心を記憶を

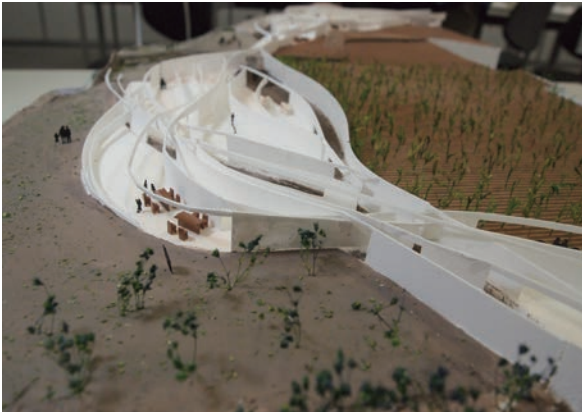


審査委員長 柳田 富士男
 審査委員 柳瀬 寛夫 鳴海 雅人 矢野 裕之 青井 俊季
 林 美栄子 信太 義晴 佐々木 達郎 古川 洋
 審査コーディネーター 佐久間 明

学生賞協議会会長 大岩 義充
 (会場 千葉市 Qiball きぼーる)

白井 美里 東京電機大学未来科学部建築学科

農村は層に包まれる



西山 芽衣 千葉大学工学部建築学科

谷中家

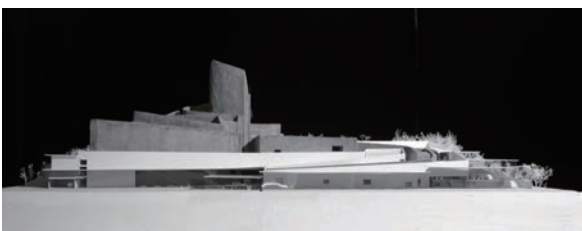


奨励賞

渡部 亘 日本大学理工学部海洋建築工学科

結ぶ言葉 高レベル放射性廃棄物最終処分場と保存の提案

(JIA 全国大会出品)



石橋 綾菜 東京理科大学理工学部建築学科

まっすぐすむこと

伊藤 弘紀 東京電機大学未来科学部建築学科

別府の春 都市機能を持った温泉街の再生

林 佳史 千葉工業大学工学部建築都市環境学科

陸と海のあいだ 生浦湾を再認識する装置としての建築

進藤 麻理 日本大学生産工学部建築工学科

たまたまばこ 時と共に変わる家

志賀 和仁 千葉大学工学部都市環境システム学科

輪郭のない共同体へ 可動壁による外部空間の領域構造の変化

黄金井 美穂 東京電機大学情報環境学部情報環境学科

Attract Stadium スポーツを身近にするランドスケープ

菊地 優介 東京理科大学理工学部建築学科

Dependence houses

堀 寛太郎 千葉大学工学部建築学科

真秀場の郷から the art park in nature

高校の部

金賞

野口 樹 千葉県立東総工業高等学校建設科

いいおか

銀賞

高山 香織 千葉県立市川工業高等学校建築科

Concert Hall ～地域と人々と音楽～

銅賞

廣居 俊 千葉県立京葉工業高等学校建設科

地域の交流 心のふれあい～図書館と公民館の複合施設～

畠中 忍 千葉県立市川工業高等学校インテリア科

Create in Cottage

奨励賞

若狭 洋輔 千葉県立市川工業高等学校建築科

Safety Anchor

菅澤 学 千葉県立東総工業高等学校建設科

復興新聞

門倉 悠介 千葉県立市川工業高等学校建築科

都市にまく種

the 25th 2013 Heisei.25

最優秀賞

橋 聡子 日本大学生産工学部建築工学科

つむぐ まちと大学のあいだに

(JIA 全国大会出品)



優秀賞

深澤 衛 千葉工業大学工学部建築都市環境学科

ゴミトメグルヤマ ごみ処理美術館の提案

(JIA 全国大会出品)



今井 沙耶 千葉大学工学部建築学科

うちのscale 谷戸のほんの一面からの再考

(JIA 全国大会出品)



特別賞

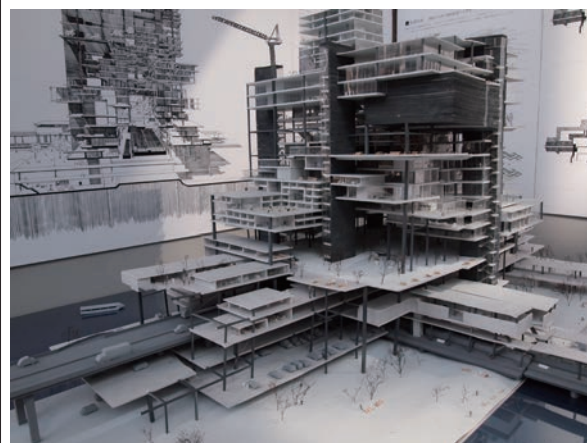
酒井 結希 東京電機大学未来科学部建築学科

カルカッタの空の下



涌井 匠 日本大学理工学部海洋建築工学科

浸都の改築 海拔ゼロメートル地帯における街区更改計画



審査委員長 安達 文宏
 審査委員 柳瀬 寛夫 矢野 裕之 鳴海 雅人 神成 健
 海老原 智子 佐々木 達郎 古川 洋
 審査コーディネーター 関谷 和則
 特別審査員 若木 滋 (日本大学名誉教授)

学生賞協会会長 柳田 富士男
 (会場 千葉市 Qiball きぼーる)

奨励賞

吉原 環 千葉大学工学部建築学科

水甕の湯街

(市民賞)



藤枝 拓弥 日本大学生産工学部建築工学科

木材乾燥の世界で

海藤 航 日本大学理工学部海洋建築工学科

環織都市 アパレル産業における廃棄物に対する啓発施設の提案

梅田 信太郎 千葉工業大学工学部デザイン工学科

アーケードからつくる街 押上通り商店街を再生する空間の提案

郝 盛 明海大学不動産学部不動産学科

多様な世帯のための団地計画

(特別審査員賞)

坂本 裕太 東京電機大学未来科学部建築学科

20世紀のトレース

大塚 竜也 千葉工業大学工学部建築都市環境学科

MOUNTAIN BAND-AID

宮原 伶奈 千葉大学工学部都市環境システム学科

ALTERNATIVE WORKSCAPE 地域内就労空間が変える郊外の暮らし

萬崎 佑策 東京電機大学情報環境学部情報環境学科

FLOW 住戸と路地の流動的なユニットプラン

広瀬 賢人 東京理科大学理工学部建築学科

MEDIA SKIN

西口 雅洋 千葉大学工学部都市環境システム学科

自生的ニュータウン 自生的居住地形態の導入によるくらしの創造

范 雪奇 東京理科大学理工学部建築学科

五十年後新風景

(特別審査員賞)

高校の部

金賞

秦 紋也 千葉県立市川工業高等学校建築科

大洲防災公園機能拡張案

銀賞

立身 健正 千葉県立千葉工業高等学校建設科

Aperie

銅賞

横山 智子 千葉県立市川工業高等学校インテリア科

green House

奨励賞

坂本 岳彦 千葉県立千葉工業高等学校建設科

千葉県建築教育訓練センター

蓑田 春奈 千葉県立市川工業高等学校インテリア科

趣味が生きる家

「旅のススメ」

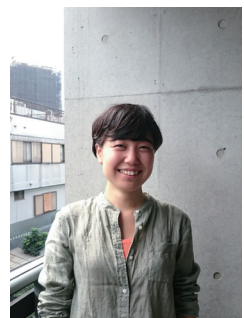
橋 聡子

卒業設計にはげみ千葉県建築学生賞で作品を発表させていただいてから5年が経ちました。

卒業してからは縁あって設計事務所に勤務させてもらっています。運よく様々な建築の設計に携わることができ成長できる機会に恵まれました。現場ごとに学ぶことも多く、次の現場に生かしてつなげていくことが建築なのかなと感じています。

仕事にも慣れ気持ちにも余裕ができてきたこのごろです。3週間の長い休暇を頂けることになり私はジェフェリー・パワの建築をめぐるスリランカの旅に出ました。南西海岸沿いのパワのホテルを転々としながらスリランカを見てまわりました。スリランカの土地と気候に寄り添い、海や森、風、雨を建築を通して豊かに感じることができ、あらためて建築の意味やおもしろさなどを感じました。

仕事を始めてからはなかなか長期の休みを取ることが難しかったので自分を見つめなおすいい機会にもなりました。大学を卒業してからは目の前の仕事にいっぱいいっぱい学生のことから一生懸命考えていたことから少し離れてしまっていたように思います。この旅をきっかけに自分の建築について見つめなおしていきたいと思っています。



the 26th 2014 Heisei.26

最優秀賞

酒井 禅道 千葉大学工学部建築学科

湧源都市

(JIA 全国大会出品)



優秀賞

遠田 拓也 日本大学生産工学部建築工学科

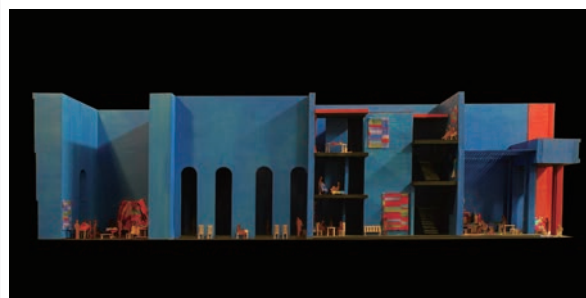
のりしろ 大学横丁



飯澤 元哉 千葉大学工学部建築学科

名も無き街へ

(JIA 全国大会出品)



特別賞

櫻井 彩 千葉工業大学工学部建築都市環境学科

小さな家族の大きな家

(市民賞)



審査委員長 柳瀬 寛夫
 審査委員 矢野 裕之 鳴海 雅人 海老原 智子 佐倉 桂
 古川 洋 佐久間 達也
 審査コーディネーター 関谷 和則
 学生賞協議会会長 安達 文宏
 (会場 千葉市 Qiball きぼーる)

齋藤 範明 日本大学生産工学部建築工学科

受け継がれる石

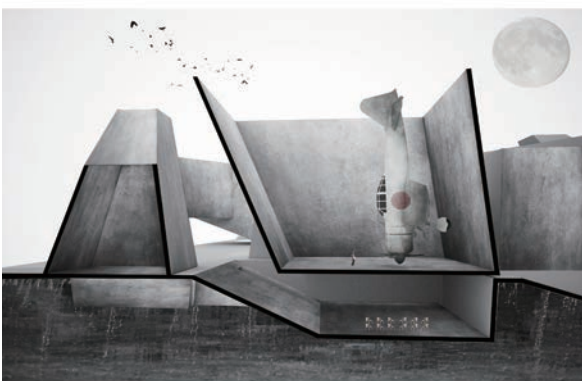


奨励賞

小田 健人 東京理科大学理工学部建築学科

時空の横断 国立戦争博物館

(JIA 全国大会出品)



川崎 将 日本大学理工学部海洋建築工学科

余白と仮設の舞台

土屋 祐貴 東京理科大学理工学部建築学科

日本人のための住宅

増子 湧一 千葉工業大学工学部建築都市環境学科

ヒトとマチの駅 道から美地へ

櫻井 利芳 千葉大学工学部都市環境システム学科

みせる農業 都市における食農空間の提案

北野 康太 千葉工業大学工学部デザイン科学科

学びの場が外へと広がる小学校およびコミュニティセンターの設計

高井 紀宏 東京電機大学未来科学部建築学科

ある街の表象、再び域をする

平井 政行 明海大学不動産学部不動産学科

子育てで繋がるシェアハウス

山川 大喜 日本大学理工学部海洋建築工学科

恥ずかしがりやの集合体 ~都市における新しい「下町」的生活のすすめ~

今野 広樹 千葉大学工学部都市環境システム学科

ARTSCAPE ~形態と空間から考える公共空間~

斎藤 愛輝 東京電機大学未来科学部建築学科

錯綜するプラットフォーム

高校の部

金賞

木村 彰吾 千葉県立京葉工業高等学校建設科

Glass kindergarten

(市民賞)

銀賞

今井 翔太 千葉県立東総工業高等学校建設科

知識の箱

銅賞

岡本 卓也 千葉県立市川工業高等学校建築科

図書館銭湯 ~まもりたいものがある~

奨励賞

赤塚 芳晴 千葉県立京葉工業高等学校建設科

児童館~ぐるぐる遊び回れる運動場~

久保澤 優希 千葉県立市川工業高等学校インテリア科

光あふれるゆとりのある家

木下 照平 千葉県立市川工業高等学校建築科

コウカシタスポーツパーク

高橋 美帆 千葉県立市川工業高等学校インテリア科

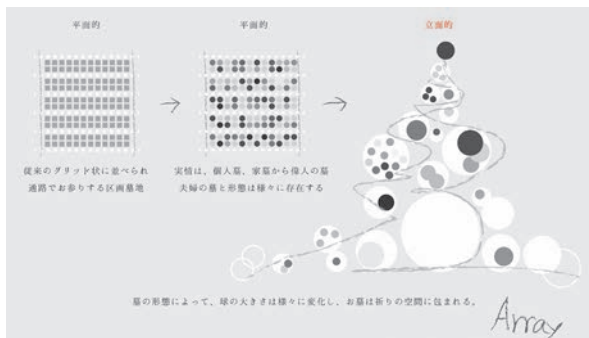
つながる家

the 27th 2015 Heisei.27

最優秀賞

戀水 桜花 東京電機大学未来科学部建築学科

生者の祈りと死者の代



優秀賞

高橋 沙織 千葉工業大学工学部建築都市環境学科

溶け込む建築 (JIA 全国大会出品)



小林 和史 千葉大学工学部建築学科

船橋の水辺より



特別賞

和田 紫穂 千葉大学工学部建築学科

駅と街のあいだ (市民賞)



審査委員長 柳田 富士男
 審査委員 神成 健 鳴海 雅人 小島 広行 田端 友康
 飯沼 竹一 貞弘 清英 佐久間 達也
 審査コーディネーター 関谷 和則

学生賞協議会会長 安達 文宏
 (会場 千葉市 Qiball きぼーる)



山影 悠時 日本大学理工学部海洋建築工学科

家路(まち)起こし 北区志茂における木密新規保存モデルの提案

(JIA 全国大会出品)



奨励賞

五条 萌 東京理科大学理工学部建築学科

湖香を謳う港

(JIA 全国大会出品)



秋山 怜央 千葉工業大学工学部建築都市環境学科

時層の護壁

(なの花賞)



末吉 隆宏 東京電機大学情報環境学部情報環境学科

アルゴリズムックデザインによる図書館の設計

高橋 美央 千葉大学工学部都市環境システム学科

Re : AOYAMA THEATER from 1985 to 2020

内藤 麻美 日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科

さくらのあと 佐倉城址公園に咲く七つの門

志萱 侑太 日本大学理工学部海洋建築工学科

伝統的職住一体集合住宅

岡田 遼 日本大学生産工学部建築工学科

建具室礼亭

今泉 ひかり 千葉大学工学部都市環境システム学科

海の洞窟 新島におけるまちおこしの拠点計画

栗田 恵 東京理科大学理工学部建築学科

故郷になる町

北浦 佑季 日本大学生産工学部建築工学科

国際建築大学 日本分校 いま、建築からできること

鈴木 千晴 東京電機大学未来科学部建築学科

受け継ぐ遺伝子

高校の部

石川 晃太 千葉県立市川工業高等学校建築科

ユーカリの丘

細谷 昂 千葉県立市川工業高等学校建築科

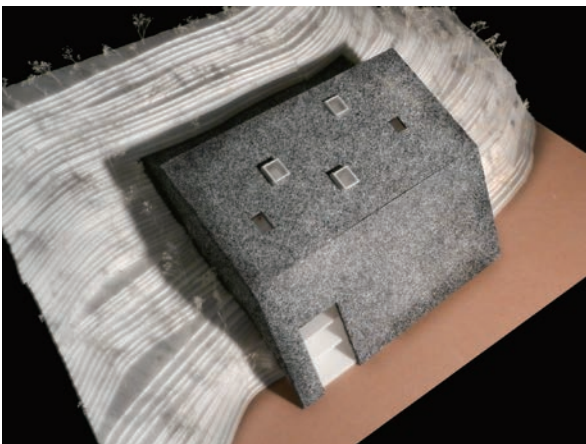
海の上の教室

The 28th 2016 Heisei.28

最優秀賞

中西 芳樹 千葉大学工学部都市環境システム学科
赤山地下壕改築計画 戦争遺跡を活用した館山市シティーホールの提案

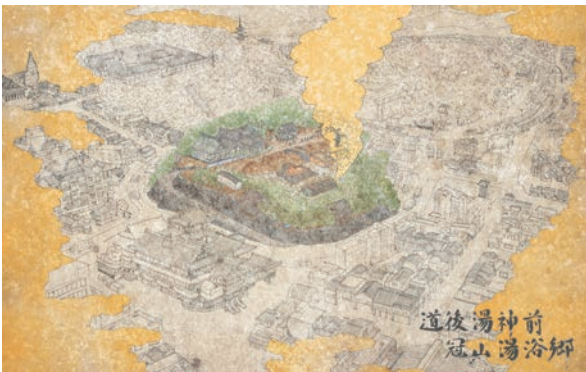
(JIA 全国大会出品)



優秀賞

山口 薫平 東京理科大学理工学部建築学科
道後湯神前冠山湯浴郷

(JIA 全国大会出品)



塩田 直哉 日本大学生産工学部建築工学科
舞台裏のわらしべ

(JIA 全国大会出品)



特別賞

高橋 洸太 千葉大学工学部建築学科
名付けられた碑

(なの花賞)



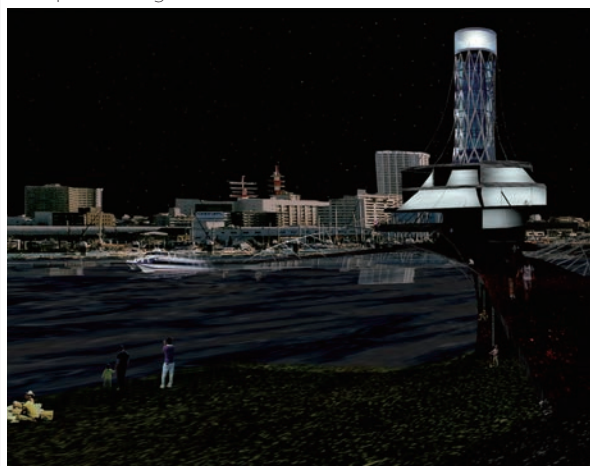
嶋田 緒音 千葉工業大学工学部建築都市環境学科
深層に有る、表層の断片

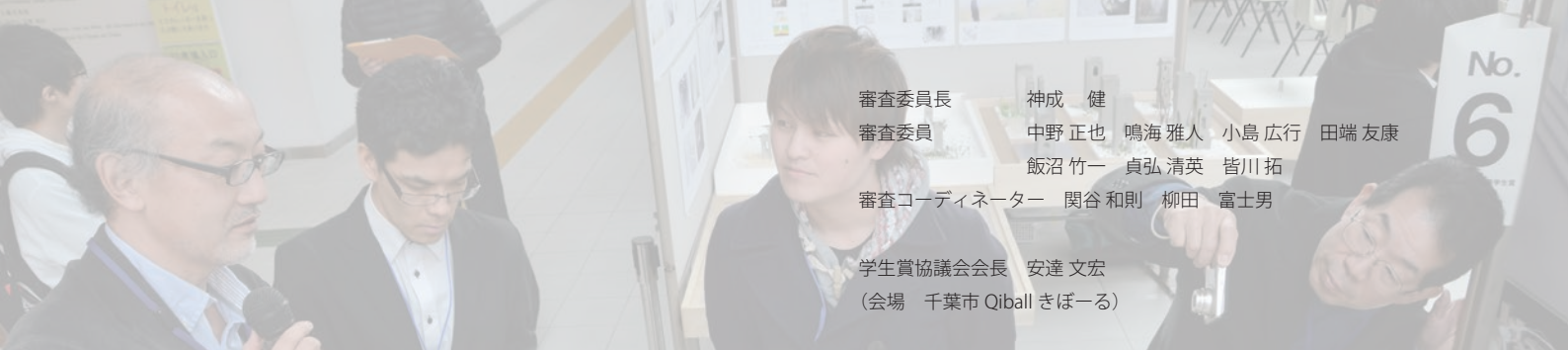


奨励賞

藤沼 悠生 千葉工業大学工学部建築都市環境学科
Aquatic Bridge 水と人の親しむ空間

(市民賞)





審査委員長 神成 健
 審査委員 中野 正也 鳴海 雅人 小島 広行 田端 友康
 飯沼 竹一 貞弘 清英 皆川 拓
 審査コーディネーター 関谷 和則 柳田 富士男
 学生賞協議会会長 安達 文宏
 (会場 千葉市 Qiball きぼーる)

竹内 有飛 東京電機大学 情報環境学部情報環境学科

繋 街をつなげる駅舎

大石 隆誠 東京電機大学未来科学部建築学科

5.7km のアーカイブ 新たに地域に根差す6つの記憶

中村 駿介 東京理科大学理工学部建築学科

谷を耕す増埒～広場と建築の間の器～

磯部 太一 日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科

対話する森 船橋市郷土資料館を中心とした多世代の学びの場

高橋 翔 日本大学理工学部海洋建築工学科

新宿群中街 新宿ゴールデン街更新計画

藤崎 耀之 千葉大学工学部都市環境システム学科

境界のない駅

竹之内 博子 日本大学生産工学部建築工学科

伸縮するすまい 動く壁がもたらす可変性

白石 矩子 東京電機大学未来科学部建築学科

鉄塔のある風景 天然ガスによる暮らし

伊佐野 未季 日本大学短期学部建築・生活デザイン学科

浮かぶ自然の舎

重田 秀之 日本大学理工学部海洋建築工学科

驛上都市 人口減少社会に突入した郊外における立体都市の提案

織 大起 千葉大学工学部建築学科

地図にない焦点

高校の部

金賞

大角 日和 市川工業高等学校建築科

いばしょ～大人たちの休憩所～

金成 朋貴 京業工業高等学校建設科

穴川公園図書館

銀賞

伊藤 紫苑 千葉県立市川工業高等学校建築科

くつろげる美術館

銅賞

松木 拓也 千葉県立市川工業高等学校建築科

蜂の巣ホテル

長谷川 喬士 千葉県立市川工業高等学校建築科

緑の塔

遠藤 滯児 千葉県立東総工業高等学校建設科

Happiness house～可能性を広げる集いの場～

木内 俊輔 千葉県立東総工業高等学校建設科

食う寝るところに住むところ

(市民賞)

受賞者の現在

東京大学大学院

新領域創成科学研究科 社会文化環境学専攻 岡部研究室

中西 芳樹

「自分の身の程を知る」「自分の問題意識を社会に問う」これらの機会を与えてくれた学生賞には大きな感謝をしています。学生賞やその他卒業設計展では、ほとんどの審査員の方々に「デザインの質が低い」とご指摘を受けた上に、「好きな建築家いないでしょ」というすべてを見透かされたような質問も何度も受けました。しかし、これにより自分の身の程を知り、自分の得意な分野を見直すべきかけにもなったと考えています。

大学院では、アジアや南米のインフォーマル居住区や、日本の集落・民家に着目し研究を行っています。振り返ると私は、建築のディテール以上に、“人間と建築の初源的な関わり”に興味があるのだと思うようになりました。常に増改築を繰り返し、そこに「いる」ことによって住むことを確立しようとするスラムや、どの地域でも基本的な「型」を持ち、それが何千年と受け継がれている民家など、「住まい」に関するプリミティブな建築的行為に興味があり、それは洞窟（地下壕）への関心にもつながっていたのでしょうか。卒業設計は、自由に自らの興味、問題意識を言語化、そして形にできる唯一の機会だったと思います。今後卒業設計を行う学生たちも、建築を通して自分の考えを「社会に問う」ために、この大会の出場を目指していただければ幸いです。



the 29th 2017 Heisei.29

最優秀賞

杉山 未沙 日本大学生産工学部建築工学科

思いを受けとめ、届ける。

(JIA 全国大会出品)

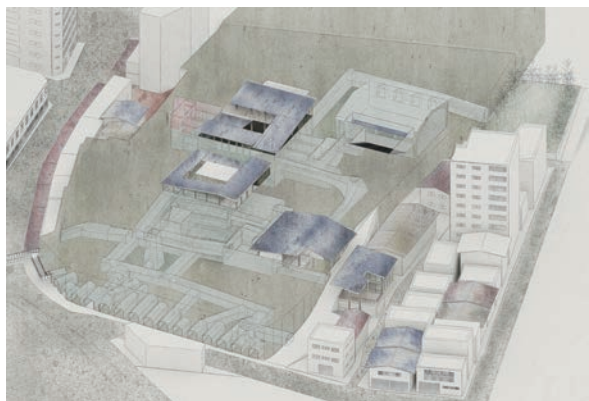


優秀賞

山下 麟太郎 千葉大学工学部建築学科

無窮洞 - 戸尾防空壕更新計画 -

(JIA 全国大会出品)



河緒 公晃 東京理科大学工学部建築学科

協奏するショッピングウォール

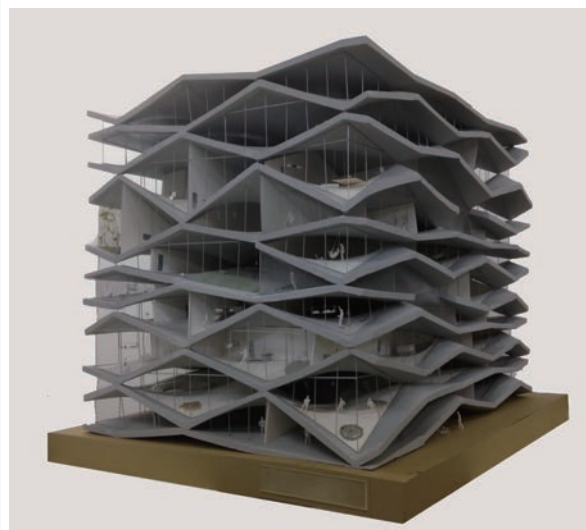
(JIA 全国大会出品)



特別賞

佐藤 康行 東京理科大学工学部建築学科

身体からの学び



西田 安希 千葉大学工学部建築学科

彩配置装置

(なの花賞)



審査委員長 中野 正也
 審査委員 小島 広行 鳴海 雅人 安田 俊也 飯沼 竹一
 園部 隆夫 皆川 拓 西山 芽衣
 審査コーディネーター 関谷 和則 柳田 富士男

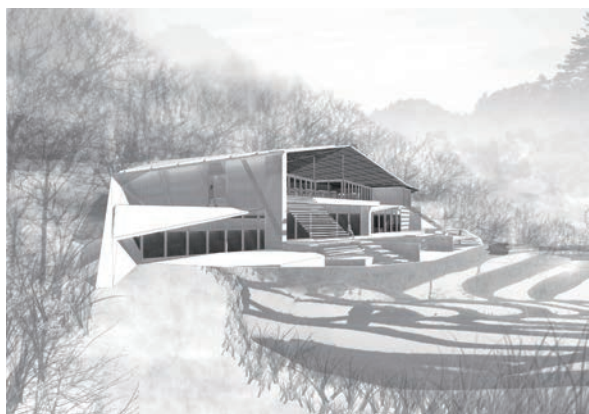
学生賞協議会会長 神成 健
 (会場 千葉市 Qiball きぼーる)

奨励賞

蒲生 良輔 日本大学理工学部海洋建築工学科

結び留める水田

(市民賞)



笹川 雄基 日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科

Moebius

藤本 貴成 東京電機大学未来科学部建築学科

夢創の場 - ベトナムの田舎町「Bac Ninh」における小さな学び舎 -

濱嶋 杜人 日本大学理工学部海洋建築工学科

万緑の聳立

手塚 千陽 千葉工業大学工学部デザイン科学科

職住共存から生まれるまちの豊かさ

「ものづくりのまち」蔵前を対象として

野田 寛敏 東京電機大学未来科学部建築学科

都市への参加 Civic Prideを通じて

香取 裕之 千葉工業大学工学部建築都市環境学科

呼応するオブジェクト 町に愛される祝祭の場

廣部 滯 千葉工業大学工学部デザイン科学科

えんがわでひらくまち ゆるやかにとけあう内と外

小熊 透太 日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科

H鋼から見える世界

鈴木 寿明 千葉大学工学部都市環境システム学科

都市と建築の連続性を持つ空間の提案

上杉 信介 千葉大学工学部都市環境システム学科

ゴミの島を物流の島に変換する 株式会社神戸市の再生

井手 優汰 日本大学生産工学部建築工学科

林の奥に座して四顧し、傾聴し、睇視し、黙想す。

— 国木田独歩文学館 —

駿河 洋子 千葉工業大学工学部建築都市環境学科

- 何もしないこと -

鹿児島県垂水市牛根麓における思い巡らす空間の提案

高校の部

金賞

大沢 幸助 千葉県立京葉工業高等学校建設科

自然の輪 ~芽から大樹へ~

(市民賞)

銀賞

田中 琴音 千葉県立市川工業高等学校建築科

船橋ケイバみんなのケイバ

奨励賞

伊藤 涼太 千葉県立市川工業高等学校建築科

現代地球美術館

磯 響貴 千葉県立市川工業高等学校建築科

ホホワイトシップ

伊藤 駆 千葉県立市川工業高等学校建築科

空の見える美術館 ~芸術と人とのつながり~

秋元 滯伽 千葉県立市川工業高等学校建築科

エーデルワイスリゾート

~子供からお年寄りまで家族みんなが楽しめるホテル~



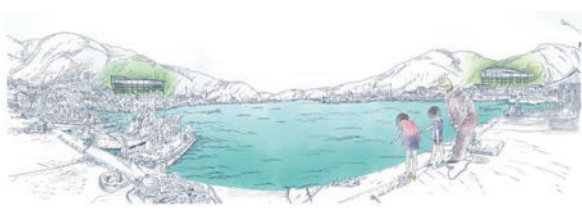
the 30th 2018 Heisei.30

最優秀賞

小島 帆南海 千葉大学工学部都市環境システム学科

めんめを育てる—南海トラフ地震での津波に備える孤児院の提案—

(JIA 全国大会出品)

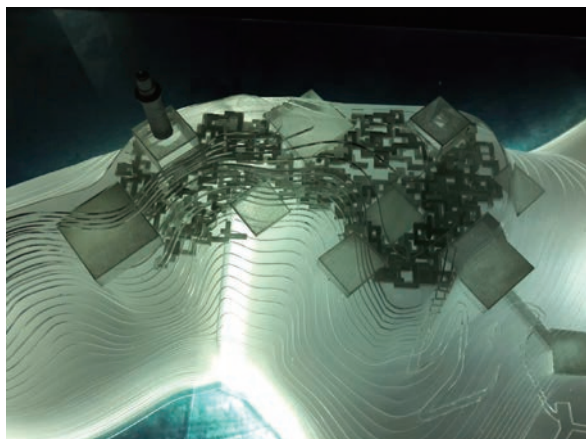


優秀賞

小野 詩織 日本大学生産工学部建築工学科

・・・テミル 人生をリセットする探索と思想の水族館

(JIA 全国大会出品)



石井 康平 千葉大学工学部建築学科

振る舞いを紡ぐ—変わりつつある商店街の未来—

(JIA 全国大会出品)



特別賞

山名 美月 東京理科大学理工学部建築学科

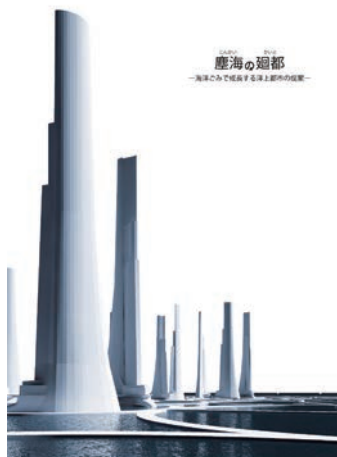
flow 月と海のリズムと応ずる助産院

(市民賞) (なの花賞)



黄 起範 日本大学理工学部海洋建築工学科

塵海の廻都 海洋ごみで成長する洋上都市の提案



奨励賞

小室 昂久 日本大学生産工学部建築工学科

烈風のマディア 大地を纏い広がる街

近藤 俊暢 東京電機大学情報環境学部情報環境学科

無数の空間的アフォーダンスを含む地形

赤堀 厚史 日本大学理工学部海洋建築工学科

新都の船壁 バングラデシュにおける新たな複合施設の提案

下泉 浩太 千葉大学工学部都市環境システム学科

Seamless Market ベットタウンに開かれた卸売市場の提案

富山 瑛太 千葉工業大学工学部デザイン科学科

新宿区立大久保小学校建て替え提案 小規模校の魅力を引き出す形

田中 章仁 千葉工業大学工学部 建築都市環境学科

アーティストのための音楽ホール 響心堂

審査委員長 中野 正也
審査委員 鳴海 雅人 安田 俊也 関谷 和則 蒲生 良隆
園部 隆夫 磯野 智由 伊藤 茉莉子
審査コーディネーター 佐々木 達郎

学生賞協議会会長 中野 正也
(会場 イオンモール幕張新都心グランドモール3階「イオンホール」)

松本 竜太 千葉工業大学工学部デザイン科学科
熱海の玄関口となる、コミュニティの拠り所

山内 颯 日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科
わんどの庭 ー海・工芸・人が結ばれる場所ー

池羽 七海 明海大学不動産学部不動産学科
選手村からサポート村へ

東京 2020 選手村の大会時利用と大会後利用を考えた共同住宅の提案

下野 真緒 千葉職業能力開発短期大学校 住居環境科
大きな樹

小山 竜二 東京電機大学未来科学部建築学科
月島の変化

宇津 里緒奈 日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科
ふれあいの種〜クラインガルテンが築く人々の輪〜

秋山 竜汰 東京電機大学情報環境学部情報環境学科
「津波避難公園」の提案・警告

新井 育実 千葉大学工学部建築学科
圃 余白のためのプロトコル

今埜 歩 東京理科大学理工学部建築学科
街並玄関孔

石井 亨和 東京電機大学未来科学部建築学科
Runway ー街の高揚ー

児玉 大樹 千葉職業能力開発短期大学校 住居環境科
時の駅 ローカル鉄道でひらける町の駅舎

小池 翔太 千葉工業大学 工学部建築都市環境学科
表出する感覚ー歪んだ建築空間ー

高校・専門学校の部

金賞

小田 瑞葵 千葉県立市川工業高等学校建築科
まちをめぐる まちをめぐる ー街の回遊性を高める空地的建築群ー

水野 誉也 千葉県立市川工業高等学校建築科
自然に奪われ、祝われて

銀賞

上谷 虹熙 千葉県立京葉工業高等学校建設科 (市民賞)
てをとりあって
ーチャイルドマインダーを利用した「こども」を育む集合住宅ー

銅賞

小島 海月 千葉県立市川工業高等学校建築科
黄金比の図書館

浅見 遊 千葉県立東総工業高等学校建設科
旭市立美術館 ー旭の街を知るー

創立 30 周年に寄せて (受賞者の現在について)

卒業設計から学んだこと

千葉大学大学院

(融合理工学府地球環境科学選考都市環境システムコース)

小島 帆南海

卒業設計を千葉県学生賞に出展してから半年経った現在、私は大学院に進学しています。

卒業設計から多くのことを学びましたが、学生賞でのたくさんの方からの講評が私の一番の成長になったと感じています。私は卒業設計を行う際に、周りの人だけでなく、対象地域の住民にも意見を求め、地域に受け入れられる作品を作ることを目指していました。学内でも様々な意見をもらい、学生賞ではさらに、作品の対象地を知らない一般の方、他大の出展者からも意見を頂くことができました。その際、地域性が伝わるものができたと感じる意見の一方で、街の景観に馴染んでいないという意見をもらうこともありました。また、審査員からは建物自体や、社会性など様々な観点からの講評を目の前で議論していただき、今後の課題を知るための貴重な機会を頂きました。この経験は、これからの都市・建築を考えていく人になるために、多様な立場の人と接して意見を聞くことが大切だと再度認識するきっかけにもなりました。一度きりの卒業設計を全力で取り組み、得た経験に感謝すると共に、今後も、住民の価値観を街に取り入れられる人を目指して頑張っていこうと思いました。



学生賞の始まり

1988年(昭和63年)日本建築学会の大会が千葉県で初めて日大生産工学部のキャンパスを会場として、10月8日～10日に開催された。

その折大会のまとめ役でもあった若木滋日大教授(現名誉教授)より、千葉県の設計業務団体の大会への参加と協力を求める要請が千葉県建築設計監理協会(現JIA千葉)にあった。大会の中では千葉県建築士会及び千葉県建築士事務所協会にも働きかけ、この三会により当時建築士会が主催していた“建築コンクールちば”の展覧作品を主体にして展示することになった。

その他、“日本の町並み”展への協力、更にこれを機会として“学生・優秀作品への褒賞…(仮称)千葉県三会賞”というような、その制度の創設を大会期間中に発表することになった。大会は大きな成果のなか無事終了と同時に千葉県開催を記念して同年11月には我々3団体と千葉県に建築学科を擁する千葉大学、千葉工業大学、東京理科大学、日本大学(2学部)の4大学5学部の先生方によって連絡協議会が組織され、その翌年(1989年)3月18日に千葉工業大学の製図室に各大学推薦2名の展覧で卒業設計作品10点が出揃い、各3会から出た9名の選考委員によって金、銀、銅賞、及び努力賞が選ばれた。

そして3月20日～23日の4日間津田沼サンパデック1階センターモールにおいて展示会が催され、私達建築関係者は当然のこと各大学の先生方、学生はもとより多くの一般市民、子供達の関心と呼ぶことになった。

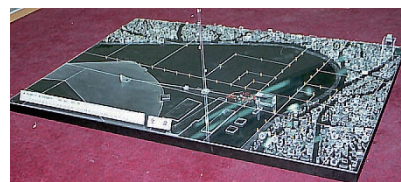
…これは房総の地で建築を学んだ学生が巣立っていく将来にエールを贈ろうというものである。当初は“千葉県建築三会学生賞”という名称からスタートし、その後毎年更に成長、発展して今年30年を迎えている。

麓 佳正
(第9回・10回千葉県学生賞 会長)

1st 1989

金賞

岡松 利彦 東京理科大学理工学部建築学科
INTELLIGENCE COMPOUND 1901



銀賞

角野 文和 日本大学生産工学部建築工学科
A SPACE SCHOOL

銅賞

近藤 陽次 日本大学理工学部海洋建築工学科
水の惑星 INTERNATIONAL SPACE PORT PROJECT 2089

努力賞

水落 秀木 千葉大学工学部建築学科
KAIHIN COMMUNITY CENTEWR

若松 永 千葉大学工学部建築学科
コミュニケーションマーケット、犬の散歩道

若林 宇興 千葉工業大学工学部建築学科
新型バウハウスの実験

小林 英子 千葉工業大学工学部建築学科
CASINO

奥井 治彦 東京理科大学理工学部建築学科
NOISE -脱消費者時代-

水島 裕紀 日本大学生産工学部建築工学科
オペラハウス “スノップ”

毛見 究 日本大学理工学部海洋建築工学科
海城高松城を核とした宇高連絡船がリアリティ計画

審査委員長 明智 克夫

審査委員 桑田 昭 / 麓 佳正 / 鶴田 成男 /
柴野 萬 / 千葉 茂 / 加藤 栄男 /
青山 靖 / 成毛 四郎

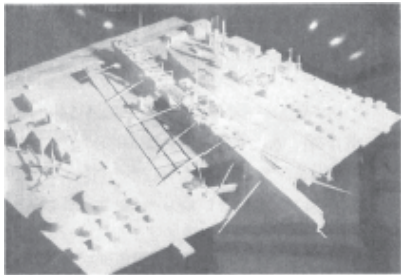
会長 桑田 昭

(会場 津田沼サンパデック)

2nd 1990

金賞

佐久間 明 日本大学 理工学部海洋建築工学科
KAWASAKI MEDIA CITY PROJECT



銀賞

湯浅 篤哉 日本大学 生産工学部海洋建築工学科
水かいわい空間の再生

銅賞

竹内 智雄 千葉大学 工学部建築学科
Maison de la Culture du Japan à Paris

銅賞

高橋 邦明 日本大学 生産工学部建築工学科
SCHOOL

努力賞

大島 朗 千葉大学 工学部建築学科
WATER FRONT ART CENTER

金城 美佳 千葉工業大学 建築学科
ILLUSION

萩原 健 千葉工業大学 工学部 建築学科
自然・都市・建築

長谷川 晃三郎 日本大学 理工学部海洋建築工学科
時世（とき）の記号

滝澤 俊之 東京理科大学 理工学部建築学科
神々のテクノロジー

田中 公康 東京理科大学 理工学部建築学科
Intelligent Imperialism

—記念講演—

服部 岑生（千葉大学教授）
「理想の住まいづくり、まちづくり」



審査委員長 明智 克夫

審査員 桑田 昭 / 麓 佳正 / 鴫田 成男 /

柴野 萬 / 千葉 茂 / 加藤 栄男 /

青山 靖 / 成毛 四郎

会長 桑田 昭

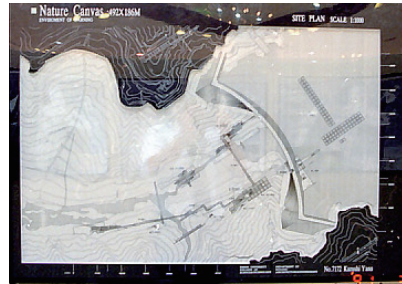
(会場 津田沼サンペディック)

3rd 1991

金賞

矢野 一志 日本大学 理工学部海洋建築工学科
Nature Canvas:492 × 196M

～黒部ダム建築化と環境の警鐘～



銀賞

岡本 真吾 日本大学 生産工学部建築工学科
生活の中心としての江ノ電

銅賞

山口 哲也 日本大学 理工学部海洋建築工学科
The Afterimage ～記憶の残像～

吉田 江利 千葉工業大学 工学部建築学科
造船所再開発計画（ドックランドワーク）

奨励賞

赤崎 格哉 千葉大学 工学部建築学科
アート・パーク

淡路 順一 千葉大学 工学部建築学科
Reincarnation -自己の再生-

加藤 聖 千葉工業大学 工学部建築学科
川崎ベイプロジェクト

高旗 雅弘 東京理科大学 理工学部建築学科
NEXUS The plan of the buffer zone

本田 茂樹 東京理科大学 理工学部建築学科
GALAXY IN TOKYO

小笠原 滋之 日本大学 生産工学部建築工学科
水網都市 川の手 ～東京都墨田区～

—記念講演—

山口 廣（日本大学教授）
「建築の保存と再生」



審査委員長 明智 克夫

審査員 柴野 萬 / 千葉 茂 / 清水 怡 /
加藤 栄男 / 成家 四郎 / 青山 靖 /
桑田 昭 / 麓 佳正 / 飯島 宏治 /
夏目 勝也 / 柴山 謙一

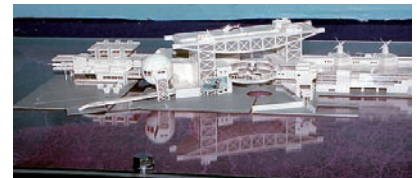
会長 明智 克夫

(会場 津田沼サンペディック)

4th 1992

金賞

高橋 武志 日本大学 理工学部海洋建築工学科
OSAKA MEDIA PIER STATION



銀賞

今泉 純 東京理科大学 理工学部建築学科
不良らしき老人はギルガメッシュの野望を夢みるか？

銅賞

信藤 順一郎 千葉大学 工学部建築学科
建築美術館

曾根 奨+寺山 直宏
日本大学 生産工学部建築工学科
THE STARTING POINT

奨励賞

慎 蒼樹 千葉大学 工学部建築学科
碓氷工芸・民話館

山本 憲示 千葉工業大学 工学部建築学科
A STRATUM, ASSEMBLY OF GENERATION

北井 風子 千葉工業大学 工学部建築学科
PICASO COMPLEX

込山 敦司 東京理科大学 理工学部建築学科
interface or inter-space

富永 隆弘 日本大学生産工学部建築工学科
HATCH

廣川 雅樹 日本大学理工学部海洋建築工学科
海の砦

—記念講演—

小原 二郎 (千葉工業大学教授)
「木の文化」



審査委員長 明智克夫

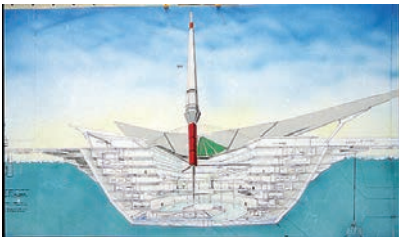
審査員 周郷 紀男 / 柴野 萬 / 夏目勝也 /
島眞俊秀 / 石田文太郎 / 麓 佳正 /
岡田 成和

会長 明智 克夫
(会場 津田沼サンペディック)

5th 1993

金賞

片桐 岳志 日本大学理工学部海洋建築工学科
THE GUEST HOUSE



銀賞

宝田 陵 日本大学理工学部海洋建築工学科
EURO WATER MART

銅賞

谷城 隆雄 日本大学生産工学部建築工学科
HOSPICE FOR AIDS PATIENTS URBANISM

特別賞

原田 勝博 千葉工業大学工学部建築学科
SITAMATI STREET

片桐 慶志 千葉大学工学部建築学科
教育施設を有する美術館
～幕張 VIDEOGALLERY～

奨励賞

室井由 紀恵 千葉大学工学部建築学科
市川市生涯学習センター

関口 拓 千葉工業大学工学部建築学科
みんなのスポーツ

佐久間 達也 東京理科大学理工学部建築学科
開示された体系の臨海をめざして
～都市コードの而今～

勝目 高行 東京理科大学理工学部建築学科
media eros

棟居 克之 日本大学生産工学部建築工学科
ART Complex Muse

—記念講演—

若木 滋 (日本大学教授)

審査委員長 夏目 勝也

審査員 周郷 紀男 / 柴野 萬 / 清水 怡 /
明智 克夫 / 岡田 成和 / 田中 修一
藤本 芳明 / 柴山 謙一

会長 明智 克夫
(会場 津田沼サンペディック)

6th 1994

金賞

関谷 和則 日本大学理工学部海洋建築工学科
GINZA GEO-WATER FRONT PROJECT



銀賞

吉田 幸正 日本大学理工学部海洋建築工学科
BAY CITY FORUM KOBE

銅賞

宮川 昌也 日本大学生産工学部建築工学科
MEDIA BARN 都市環境同化型複合施設

特別賞

道村 賢治 千葉工業大学工学部建築学科
COMPLEX PARK

為国 清治 千葉大学工学部建築学科
Selvas 熱帯雨林保護のための提案

奨励賞

筒井 亮平 千葉大学工学部建築学科
南伊豆フィールドパーク

広瀬 正夫 千葉工業大学工学部建築学科
PRESTIGE 教育空間のかたち

山崎 徹 東京理科大学理工学部建築学科
POINT ACCES 山村共同体再構築計画

吉田 諭史 東京理科大学理工学部建築学科
現代の城

宮川 昌巳 日本大学生産工学部建築工学科
MEDIA BARN 都市環境同化型複合施設

稲手 和芳 日本大学生産工学部建築工学科
ART Village

審査委員長 夏目 勝也

審査員 横山 朝夫 / 柴野 萬 / 清水 怡 /
明智 克夫 / 田中 修一

会長 明智 克夫
(会場 津田沼サンペディック)

7th 1995

金賞

清水 信友 日本大学理工学部海洋建築工学科
世界都市博覧会—お祭り広場
～水を利用した可変多目的イベントホールの提案～



銀賞

宮下 信頭 東京理科大学工学部建築学科

PHYSICAL TREMOR - 身体の振動 -

銅賞

守谷 裕理 日本大学生産工学部建築工学科

アナログ仕掛けの community line

特別賞

永丘 秀行 千葉大学工学部建築学科

高炉再生

馬場 弘勝 東京理科大学工学部建築学科

テノテクチャー・マトリックス

(科学技術・芸術文化回路網)

奨励賞

金子 勉 千葉大学工学部建築学科

幕張メッセ・モール開発計画

及川 元弘 千葉工業大学工学部建築学科

INTERNATIONAL PORT TERMINAL IN YOKOHAMA

荒川 琢 千葉工業大学工学部建築学科

INCUBATOR INTEGRAL

汐留貨物駅跡地における都市機能対応型の都市公園緑地構想

松井 大輔 日本大学生産工学部建築工学科

ニューヨーク 42 丁目クライスラー

ビルディング周辺地域複合再開発計画

戸國 義直 日本大学工学部海洋建築工学科

HELLO AFRICA 1994~ 解放、そして交流へ~

一記念講演一

守屋秀夫 (千葉大学教授)

審査委員長 田中 修一

審査員 清水 怡 / 村上 一孝 / 夏目 勝也 /

岩崎 哲朗 / 石田 文太郎 /

仲沢 和利 / 根本 正明

会長 清水 怡

(会場 津田沼サンパディック)

8th 1996

金賞

横地 哲也 日本大学生産工学部建築工学科

FICTION



銀賞

石田 美潮 千葉工業大学工学部建築学科

TOPO-AMBIGUITY

~自然メソ領域における交流施設の提案~

銅賞

浦野 唯一 日本大学工学部海洋建築工学科

The Pirates of Caribu

特別賞

遠藤 淳史 千葉工業大学工学部建築学科

南房総浪花地区再開発計画

高橋 啓 東京理科大学工学部建築学科

2095 町家

奨励賞

絵野 淳一 千葉大学工学部建築学科

京島サテライトオフィス

鈴木 禎二郎 千葉大学工学部建築学科

公団から公園へ

露木 圭 東京理科大学工学部建築学科

オペラハウス

野口 智子 日本大学生産工学部建築工学科

colony for the creators

田中 厚三 日本大学工学部海洋建築工学科

THE SPRING MOUNTAIN

~ウラジオストックに建つ“交流”ターミナル~

審査委員長 田中 修一

審査員 村上 一孝 / 加倉井 砂男 /

岩崎 哲朗 / 宇野 武夫 / 寺川 典秀

長谷川 清次郎 / 中村 良広

会長 清水 怡

(会場 津田沼サンパディック)

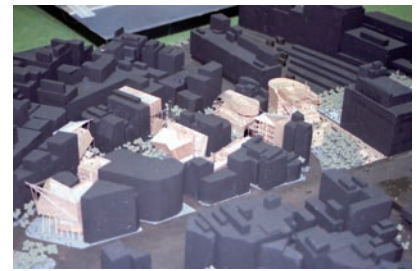
9th 1997

金賞

中野 正也 千葉工業大学工学部建築工学科

新宿解放計画

~オープン化された建築群によるまちづくり~



銀賞

中村 武晃 日本大学工学部海洋建築工学科

Return to Nature

銅賞

田中 万士 千葉工業大学工学部建築学科

RINKAI PROJECTS

特別賞

陳 雅林 日本大学生産工学部建築工学科

遊戯聚 (ヨシチュー) ~台南市運河沿いの街~

坂 礼吾 千葉大学工学部建築学科

HANGING IN THE BALANCE

~ Tecno Art Museum In Makuhari ~

奨励賞

橘 美紀 千葉大学工学部建築学科

Reconfirmation ~光の再確認~

重富 裕之 東京理科大学工学部建築学科

第3東京国際空港

岩間 航 東京理科大学工学部建築学科

Station with no complete form

中田 江利 日本大学生産工学部建築工学科

新宿界 隅計画 - ONE MORE TIME TO LIVE -

小川 太士 日本大学工学部海洋建築工学科

TOKYO JUNGLE

審査委員長 岩崎 哲朗

審査員 田中 修一 / 村上 一孝 /

加倉井 砂男 / 宇野 武夫 /

寺川 典秀 / 長谷川 清次郎 /

相原 敏郎

会長 麓 佳正

(会場 津田沼サンパディック)

10th 1998 (高校作品展示を開始)

金賞

塚原 昭彦 日本大学生産工学部建築工学科
re-start



銀賞

森田 洋子 千葉大学工学部建築学科
つきじ Live-Bazaar

銅賞

山越正浩+小山田 繁
千葉工業大学 工学部建築学科
京都・岡崎再開発計画
- 緑と人と文化のネットワーク -

特別賞

浅井 晃 千葉大学工学部建築学科
千葉駅-東千葉駅間活性化計画

姉川 剛+大村 献

千葉工業大学 工学部建築学科
Re-Form

奨励賞

江口 範晃 東京理科大学理工学部建築学科
MANZA TECHNOLOGY PARK

山田 俊之 東京理科大学理工学部建築学科
S3新宿駅「上口」改造プロジェクト

鹿又 一真 日本大学生産工学部建築工学科
STANDING OPPOSITE

市原 裕之 日本大学理工学部海洋建築工学科
日蘭文化交流センター

針生 康 日本大学理工学部海洋建築工学科
shelterd edge ~海際空間の提案~

高校の部

新野尾 孝二 千葉県立市川工業高校
TRY HEART MUSEUM

森 拓也 千葉県立市川工業高校

MUSEUM

老田 博幸 千葉県立市川工業高校

STATION

木島 亨 千葉県立市川工業高校

教会

沼端 真大 敬愛学園高等学校

趣味と生きる (ホビーハウス)

森岡 勲 敬愛学園高等学校

楽しい住まい〜地域とのふれあいを求めて〜

浅海 義徳 千葉経済大学附属高等学校

四季の風

高橋 章郎 千葉経済大学附属高等学校

好楽の集い

一記念講演一

池田 武邦 (長崎総合科学大学教授)

「風土に根ざした建築」



審査委員長 岩崎 哲朗

審査員 田中 修一 / 明智 克夫 / 櫻井 修 /
宇野 武夫 / 寺川 典秀 / 相原 敏郎

会長 麓 佳正

(会場 津田沼サンペディック)

1st 1999

金賞

大野 貴司 日本大学理工学部海洋建築工学科
YODOYABASHI EXPAND TERMINAL



銀賞

都祭 俊一郎 日本大学生産工学部建築工学科
寺院建築における空間のスタディ

銅賞

川島幸哲+栗田紳 千葉工業大学工学部建築学科
新木場再活性化計画 新たな記憶を刻み込むため

特別賞

斉藤 輝彦 千葉大学工学部建築学科
drop in ~水海道市街地商店街再興計画~

松本 瑞樹 日本大学生産工学部建築工学科

CONTRAST

奨励賞

山崎 能宏 千葉大学工学部建築学科

風景湯

桑原竜吾+山下史 千葉工業大学工学部建築学科

歌舞伎町プロジェクト

CULT(耕された) URE(ところ)の可能性

大鹿 智哉 東京理科大学理工学部建築学科

nest in the city

早川 淳也 日本大学理工学部海洋建築工学科

OPEN STUDIO ~ 環境7ートを主とした都型美術館 ~

高校の部

阿曾沼 義典 千葉県立市川工業高等学校建築科
幼稚園

坂本 泰子 千葉県立市川工業高等学校建築科

LIBRARY

永山 彰 千葉県立市川工業高等学校建築科

集合住宅

後藤 洋平 千葉県立市川工業高等学校建築科

エアプラシの練習

参加生徒多数 千葉県立市川工業高等学校建築科

千葉県立千葉高等学校講堂実測図

小林 正明 千葉県立京菜工業高等学校建設科

中庭を活かした住宅の設計

早見 和香 千葉県立京菜工業高等学校建設科

中庭を活かした住宅の設計

砂川 未歩 敬愛学園高等学校建築科

ふれあい住宅

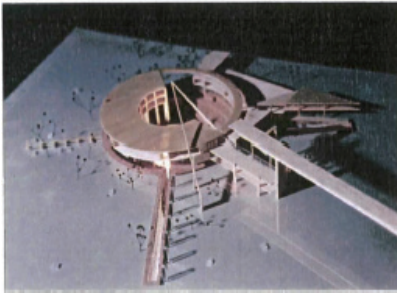
堀内 夏樹 敬愛学園高等学校建築科

ホビーハウス (音楽を奏でる家)

審査委員長 宇野武夫
審査員 櫻井 修 / 稗田 忠弘 / 田中 修一 /
榎本 雅夫 / 寺川 典秀 / 宮崎 輝紘
齊藤 博
会長 櫻井 修
(会場 津田沼サンペディック)

2nd 2000 (公開プレゼンを開始)

金賞
北原 祥三 千葉大学工学部建築学科
セトモノメモリアル
～陶都瀬戸市における三番目の記念碑～



銀賞
寺田 健 日本大学理工学部海洋建築工学科
船橋漁港蘇生計画

銅賞
佐野 勝彦 日本大学生産工学部建築工学科
FACES

特別賞
村尾 充宏 東京理科大学理工学部建築学科
Infiltration ～21世紀の横田空港～

江橋 亜希子 日本大学理工学部海洋建築工学科
SHIMANAMI COLLEGE
～瀬戸内諸島における新たな交流学習施設の提案～

奨励賞
大田 智之 千葉大学工学部建築学科
下町地域構造再生

齊藤 大介 千葉工業大学工学部建築学科
死の復権 The Restoration of DEATE

翁 和光 千葉工業大学工学部建築学科
川の記憶～A memory of river～

小鮎 光司 東京理科大学理工学部建築学科
link

田村 裕希 日本大学生産工学部建築工学科
→ 00 Project -UNTITLED-

高校の部
阿部欽也+及川裕之+岡見光輔+榎原健一
+本田俊也 千葉県立市川工業高等学校建築科
歴史的建造物の調査及び模型作成
千葉教会教会堂

井田 宗一郎 千葉県立市川工業高等学校建築科
Concert hall

イベント
「図形で遊ぼう」ポリドロン

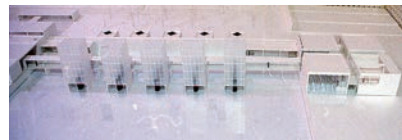


審査委員長 宇野 武夫
審査員 田中 修一 / 佐竹 良造 / 古月 輝昭
稗田 忠弘 / 寺川 典秀 / 高木 憲一
長谷川 清次郎

会長 櫻井 修
(会場 津田沼サンペディック)

3rd 2001

金賞
真岩 拓郎 東京電機大学工学部建築学科
Crematorium on the sea



銀賞
赤池 高幸 東京理科大学理工学部建築学科
Shift

村松 雄寛 東京理科大学理工学部建築学科
Shibuya kaleidoscope

銅賞
安藤 功 千葉大学工学部建築学科
筑波開国宣言

綱木 俊博 日本大学理工学部交通土木工学科
羽田国際空港とマルチモーダルネットワーク構想

奨励賞
北野 信吾 千葉大学工学部建築学科
I/O STREAM ～手取川ケーブルネット～

平光 儀徳 千葉工業大学工学部建築学科
Re-

古泉 和宏 千葉工業大学工学部建築学科
InterACT

大野 裕史 日本大学生産工学部建築工学科
海都/波紋

鄭 利宣 日本大学生産工学部建築工学科
REFUGE PACK

原 香菜子 日本大学理工学部海洋建築工学科
Urban Kitchen

渡邊 昌也 日本大学理工学部海洋建築工学科
TOKYO BAY TORTPORT STATION

中林 薫 日本大学理工学部交通土木工学科
川崎・セントラルステーション構想

関口 加奈子 東京電機大学工学部建築学科
GATE

高校の部
柴田 浩太郎 千葉県立市川工業高等学校建築科
坪井 明 千葉県立市川工業高等学校建築科

松坂 隆志 敬愛学園高等学校建築科
山本 博之 敬愛学園高等学校建築科
横田 龍之介 千葉県立東総工業高等学校建設科
保谷 達也 千葉県立東総工業高等学校建設科

審査委員長 佐竹良造
審査員 梶山 健治 / 古月 輝昭 / 加藤 文男
長谷川 清次郎 / 寺川 典秀 /
荻原 幸雄
会長 宇野 武夫
(会場 津田沼サンペディック)

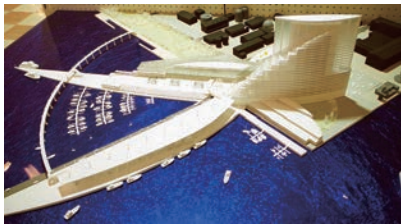
14th 2002

金賞

不破 徹 日本大学生産工学部建築工学科
地域の context を再編するための
Harbor Complex

銀賞

田口 千晶 千葉大学工学部都市環境システム学科
空港都市におけるショーケースに関する提案



佐々木 里紗 東京電機大学工学部建築学科
国立 戦没者と出会う場

銅賞

花里 真道 千葉大学工学部デザイン工学科
界面活性 surface active agent

西牧 厚子 日本大学生産工学部建築工学科
ライステラスハウジング

奨励賞

小林 大祐 千葉大学工学部デザイン工学科
WORK

小林 慶太郎 千葉大学工学部都市環境システム学科
多脳都市 / 多脳図書館

森下 貴正 千葉工業大学工学部建築学科
NEW SKYSCRAPER MODEL

岡本 健 千葉工業大学工学部建築学科
interruptActed sheet

佐々木 達郎 千葉工業大学工学部工業デザイン学科
FARM SCAPE

米田 周平 千葉工業大学工学部工業デザイン学科
関東財務局アパート再生計画

渡辺 哲夫 東京理科大学工学部建築学科
2002 : a tokyo bay odyssey

清水 秀樹 東京理科大学工学部建築学科
renaissance of drama

秦野 浩司 日本大学理工学部海洋建築工学科
THE THIRD BOSPHORUS BRIDGE PROJECT

木村 輝之 日本大学理工学部海洋建築工学科
TOTENSTADT

大沼 郁俊 日本大学理工学部社会交通工学科
TOKYO ビッグステップ

田島 敬悟 日本大学理工学部社会交通工学科
福岡マルチモーダル構想

前谷 英如 東京電機大学工学部建築学科
LUMINE3

高校の部

本多 洋平 千葉県立京葉工業高等学校
趣味 (音楽) 室のある親子二世帯住宅

頭山 俊吾 千葉県立市川工業高等学校建築科
Library (地域に建つ図書館)

田村 宏記 千葉県立市川工業高等学校建築科
SUN ART MUSEUM (太陽美術館)

高原 浩司 千葉県立市川工業高等学校建築科
絆 ~ 蜂の巣のように ~

石田 卓 千葉県立市川工業高等学校建築科
Sta rting

鈴木 彩 千葉県立市川工業高等学校建築科
Strawberry Nursery School

国分康平 + 高津敦之 + 高橋秀樹 + 達入賢一
千葉県立市川工業高等学校建築科

姫路城模型

大谷多瑞光 + 古閑純 + 後藤晃一 + 澤村篤史
+ 木村雄太 + 後藤絵里 + 佐々木彰

+ 花島友美 + 原田研一郎
千葉県立市川工業高等学校建築科

県立東金高校 西洋作法室 実測模型

ーイベントー

「図形づくりを楽しもう」ポリドロン
「大学研究室作品」展示

「建築4会会員作品」展示
審査委員長 佐竹良造

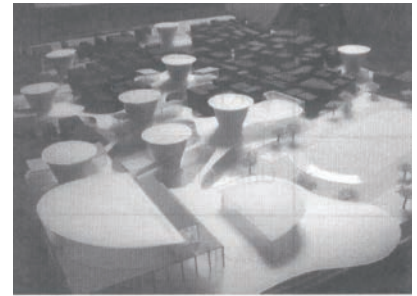
審査員 泉川 安雄 / 大岩 義充 / 荻原 幸雄
加藤 文男 / 梶山 健治 / 寺川 典秀

古月 輝昭
会長 宇野 武夫
(会場 津田沼サンペディック)

15th 2003

優秀賞

鈴木 啓 千葉大学工学部デザイン工学科
学校解放



宇都宮 杏子 + 西村 磨智子
千葉大学工学部都市環境システム学科

地域の価値を高める再開発

中西 悟 東京理科大学理工学部建築学科
TOKYO LIBRARY

川井 慎一郎 日本大学生産工学部建築工学科
東京スタイル

特別賞
今井 圭 東京理科大学理工学部建築学科
Unstable

金子 泰子 日本大学生産工学部建築工学科
ウミノパズル

奨励賞
鈴木 葉子 千葉大学工学部デザイン工学科
Marunouchi Complex

外山 明里 千葉大学工学部都市環境システム学科
記憶の森 ~ 過去の人々と暮らす街 ~

大崎 勝則 千葉工業大学工学部建築学科
Fitness Freak -sports complex-

三島 裕子 千葉工業大学工学部建築学科
Aqualine Motordrive Architecture

中村 文子 千葉工業大学工学部工業デザイン学科
都市の食卓

小野 晋吾 千葉工業大学工学部工業デザイン学科
家族が永く住み続ける家

栗田 耕史 日本大学理工学部海洋建築工学科
三番瀬環境活動拠点の設計

長坂 悠司 日本大学理工学部海洋建築工学科
いわふね斎場の設計

中嶋 崇 日本大学理工学部社会交通工学科
市ヶ谷マルチモードステーション構想

萩原 麻衣子 日本大学理工学部社会交通工学科
秋葉原未来型都市構想

奥澤 健 東京電機大学工学部建築学科
乾いたウラ

菅原 綱治 東京電機大学工学部建築学科
Recycling Factory Void Playzone

高校の部

東総工業高等学校 建設科

大胡健介、齋藤 徹、崎山祐治、石毛菜美子、
窪田 理沙

茂原工業高等学校建設科

山中紀行、仲俣あゆ美、小野衣純、森川裕貴

京葉工業高等学校建設科

向井和幸、矢角卓、山内亜希子、首藤健一

市川工業高等学校建築科

青木翔、大下祐治、茂木了、石井隆明、松丸佳代、
戸村響子

市川工業高等学校インテリア科

吉川紗世、佐藤佳世子、清水亜希子

葛南工業高等学校建築科

工藤一博、村木周一、山本彩、山田 恒平

敬愛学園高等学校建築科

稲垣宏司、大場章生、石川雄三

千葉経済大学付属高等学校建築科

玉置俊浩、小久保悠介、阿久津信康

審査委員長 寺川典秀

審査員 宇野 武夫 / 森田 敬介 / 梶山 健治
加藤 文男 / 荻原 幸雄 / 泉川 安雄
家永けい子

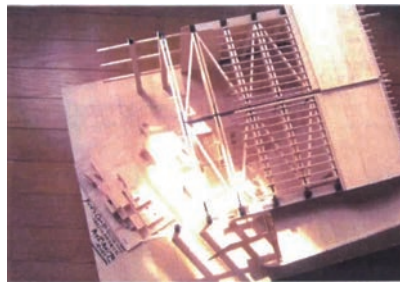
会長 佐竹良造

(会場 千葉市生涯学習センター)

16th 2004 (市民の声を開始)

最優秀賞

TEOH CHEE SIANG 千葉大学工学部デザイン工学科
Kid' s Camp



優秀賞

大黒 俊平 千葉大学工学部デザイン工学科
Kyo-Kai=KIKKAKE (キョーカイ・ハ・キッカケ)

一色 博貴 千葉工業大学工学部 建築学科
都市の象徴から歴史のシルエットへ

青木 英祐 東京理科大学理工学部 建築学科
SPACE FRAMING

特別賞

南 俊允 東京理科大学理工学部 建築学科
OVER SIZE BUILDING

武田 有紀 日本大学生産工学部 建築工学科
ウパシ・コロ・チセ

奨励賞

ゲルーフ・とよすぐみ(武田桃子、他4名)
千葉大学工学部 都市環境システム学科

集める・育てる・発信する

戸叶 和典 千葉大学工学部 都市環境システム学科
node

渡部 祐也 千葉工業大学工学部 建築学科
Art&Agriculture

平 聖子 千葉工業大学工学部工業デザイン学科
都心×子供の居場所

小谷 祥子 千葉工業大学工学部工業デザイン学科
舟屋都市「バンス」

斉藤 華織 日本大学生産工学部 建築工学科
土地のちから 建築のちから

白砂 孝洋 日本大学理工学部海洋建築工学科
Irkutsk Flex-lab

川崎 未来生 日本大学理工学部海洋建築工学科
MM21 中低層高密度集合住宅

石井 紀央 日本大学理工学部社会交通工学科
佃島水都再生構想

稲葉 修 日本大学理工学部社会交通工学科
隅田川運河駅構想

上島裕子+長谷川千純
東京電機大学工学部建築学科

campus

筑城 浩介 東京電機大学工学部建築学科
人の集まる港 ~清水港中心化計画~

高校・専門学校の部

千葉県立市川工業高等学校

柳千尋一集合住宅

渡辺武敏一 CONSTELLATION KINDERGARTEN

市川崇・小林真人・須田慧・米倉竜彦

一木造2階建専用住宅の断面模型

茂木一チョコレートようなログハウス

須川陽平一たて長式和風住宅

鈴木学一茅葺の住宅

須田慧一簡単ログハウス

石川裕一、及川浩貴、奥山俊昭、工藤英介、

芹澤祐紀、渡邊沙志一木造耐震診断調査研究

石正彦典、鈴木学、海老原美紀、木村岳、剣持貴司、

林剛一木造耐震診断調査研究

村上勝則、丸山吉由貴、佐々木康佳、吉川紗世一

世界文化遺産ナバル建築の現状調査

千葉県立葛南工業高等学校定時制建築科

伊藤嘉康一木造2階建軸組模型の製作

千葉県立東総工業高等学校建設科

崎山祐治一「癒しの家」

辻方英一「眺めのいい店」

千葉県立京葉工業高等学校建設科

君塚健太郎、清水和也一愛犬と暮らす老後の住まい

須田俊郎一建物スケッチ探訪「千葉ポータワ

ー」「見浜園」

別府拓也一建物スケッチ探訪「千葉県スポーツ

科学センター」「浜野の家」

敬愛学園高等学校建築科

小川智史一「地球にやさしい家づくり」

徳重康明一「自然エネルギーの利用」

大場章生、木股敬治、内藤博道、小川智史、

徳重康明一薬師寺西塔模型制作

国際理工専門学校建築設計科

田原義範—自然発生的集合住宅
秋葉陽子—集合住宅～住宅の記憶～

千葉日建工科専門学校建築 CAD 設計科

泉宏一、幸田崇徳、鈴木孝英—新しい図書館
森山雄介—量のある家
広瀬さやか—くつろぎの家
第7期生一同—H 邸計画案

審査委員長 寺川典秀

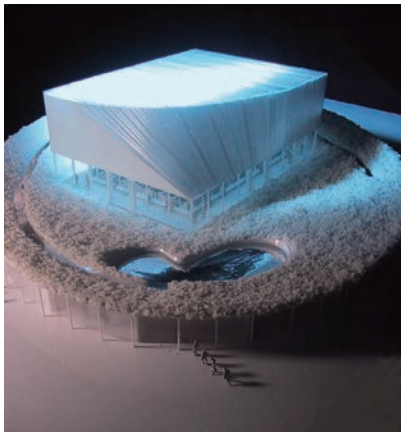
審査員 柳田 富士男 / 橋場 隆夫 /
稗田 忠弘 / 荻原 幸雄 / 泉川 安雄
大岩義充 / 森田 敬介 /

会長 佐竹良造
(会場 千葉市生涯学習センター)

17th 2005

最優秀賞

伊藤 茉莉子 日本大学 生産工学部 建築工学科
re Arena
～地域の体育施設を居住空間の視点から再考する～



優秀賞

石沢 英之 東京理科大学 理工学部 建築学科
ダイナミックな建築
～敷地：南九州 宮崎県都市～

黒澤 清高 千葉大学 工学部 デザイン工学科建築系
関係ノ二重螺旋
～small office village yokohama～

小塚 真太郎 千葉大学 工学部 デザイン工学科建築系

Omotosando Greater's Lab ～触発の場～
特別賞

鈴木 雄介 千葉工業大学 工学部 建築都市環境学科
moving plate (ムービング・プレート)
(特別審査員賞)

稲垣 直秀 日本大学 理工学部 海洋建築工学科
TIDE ～竹芝埠頭における水上交通拠点の提案～

奨励賞

平賀 千尋 日本大学 理工学部 社会交通工学科
東京・水の回廊構想
(特別審査員賞)

川村 匡平
東京電機大学情報環境学部情報環境デザイン学科
ペットボトルハウス
～非建築部品を用いた建設の可能性～
(特別審査員賞)

東根 章悟 東京電機大学 工学部 建築学科
23 twenty three
(特別審査員賞)

飯田 高大 千葉大学 工学部 都市環境システム学科
蒲田行進曲 ～Civ Park Land 構想～

南 龍平 日本大学 生産工学部 建築工学科
230m の縁側 ～東京を、好きになる暮らし～

永石 悠里子 千葉大学 工学部 都市環境システム学科
茂原に住まう Live in MOBARA and Activate
MOBARA ～賑わいは住まうことによって生まれる～

加藤 修平 東京理科大学 理工学部 建築学科
TOKYO MEDIA CONVERTER

平賀 千尋 日本大学 理工学部 社会交通工学科
東京・水の回廊構想

林 克臣
東京電機大学 情報環境学部 情報環境デザイン学科
shift
～歴史的な町並に合った新たなデザインコードの提案～

高木 充 千葉工業大学 工学部 建築都市環境学科
渋谷川転換

大山 理香 東京電機大学 工学部 建築学科
gather x diffusion
～都心に創る子供の空間～

笠間 洋平

明海大学 不動産学部 不動産学科 環境デザインコース
TWICE MY LIFE
～2 戸一括購入型住宅取得プログラム～

勝又 洋 日本大学 理工学部 海洋建築工学科
WAVES～MM21 複合型スポーツ施設の提案～

高校の部

千葉県立市川工業高等学校建築科

木部嗣、櫻庭雅也、村上竜一、渡辺皓太
JR 本八幡北口再開発プロジェクト
青木翔、志田睦、田中勝悟
リサイクル模型の作成
菅原政紀 教会
青木翔 水族館
栗原健夫、奥田美紀、信田雄大、田川直樹、高橋俊和
松本城模型

福田勝広、竹澤拓人、中原善之 住宅模型
安斎誠也、磯村一也、圓田美穂、木村裕太、
久保一樹、市村陽明、大平和也、小野塚大佑、
川村健人、高橋賢一、田中清志、中原善之
木造耐震の研究

千葉県立京葉工業高等学校建設科

塩齋広太 肘掛椅子 (トライアングルチェア)
須田俊明 フロアースタンド(Void)
向井和幸 フロアースタンド(Vortex)
山本光洋 アームチェア (レッドアンドブラック)
吉田悠 フロアースタンド(Wa)
渡辺順子 a チェア

千葉県立東総工業高等学校建設科

大胡健介 自然と芸術を育む 2 棟の家
八角直樹 都会のオアシス

千葉県立葛南工業高等学校校定時制建築科

神尾浩一 将来の高齢化に配慮した専用住宅
高山亜希子 宮久保に建つ二世帯住宅

敬愛学園高等学校建築科

稲垣宏司 日本大学 全国高等学校建築設計競技大会
新沼基 日本建築協会第 50 回在校生デザインコンクール
長嶋 太 住宅骨組模型 (1/30) 実演
元木達也、原口竜士、村上雄介、田中彬博
薬師寺西塔骨組模型 (1/50) 実演

イベントー

「小学生による未来の建築家コーナー」



—特別審査員—

モンキー・パンチ (漫画家)



審査委員長 加藤 文男

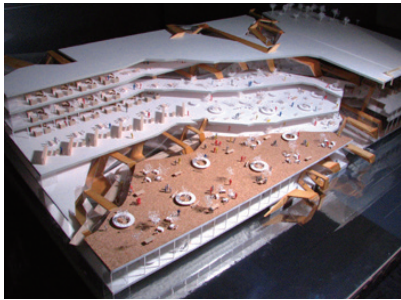
審査員 森田 敬介 / 大岩義充 / 稗田 忠弘 /
荻原 幸雄 / 泉川 安雄 / 柳瀬 寛夫
柳田 富士男

会長 寺川典秀
(会場 千葉市生涯学習センター)

18th 2006

最優秀賞

佐部利 健太 日本大学 生産工学部建築工学科
R5
ゴミ埋立地に Office と環境ステーションの結合施設
(JIA 全国大会推薦)



優秀賞

渡辺 秀哉 日本大学 理工学部海洋建築工学科
離散的関係の集合
砺波平野における新時代の農業複合型施設の設計

木村 麻美 千葉大学 工学部デザイン工学科
NITONA HEALTHCARE COMMUNITY CENTER

梅澤 竜也 東京理科大学 理工学部建築学科
Sub Set
(JIA 全国大会推薦)

特別賞

池本 千恵 東京電機大学 理工学部建築学科
BEAUTY SQUARE BUILDING FOR LADIES
(JIA 全国大会推薦)

野口 貴代 千葉工業大学 工学部建築学科
+plus -Tachigare Tomihisa-

矢野 あさか 東京電機大学 工学部建築学科
Children Landscape
(MP 賞)

奨励賞

田島 勇気 千葉大学 工学部デザイン工学科
Umihotaru.net ~築地魚市場をウミホテルに移転する~
(MP 賞)

饗庭 淳矩

東京電機大学 情報環境学部情報環境デザイン学科
BOAD 弧(個)を結び街(輪)へ
(MP 賞)

吉川 真一 東京理科大学 理工学部建築学科
穴×穴 山口県秋吉台彫刻美術館
(MP 賞)

荒牧 由里香+岡田 亜季子

日本大学生産工学部建築工学科
Minuma Lighting Project

中山 大地 千葉工業大学工学部建築学科
光の射す方へ
谷中における新しい集住地区の提案

鈴木 啓史 日本大学理工学部海洋建築工学科
みちの向こうへ
都市における食文化再考のための施設の提案

下桶 邦明 千葉工業大学工学部工業デザイン学科
原宿駅再生計画 街の景色にとけこむ駅の設計

小林 依世

東京電機大学情報環境学部情報環境デザイン学科
NO Border 横田基地周辺再開発計画

内記 宏和 明海大学不動産学部不動産学科
自然に溶け込んだ別荘地の提案

榎本 加寿美 千葉大学工学部都市環境システム学科
reversible architecture

日本橋女学館改修を軸としたまちとかわの再生

広瀬 大高 日本大学理工学部社会交通工学科
船橋鉄道高架下再生構想

則本 弘明 日本大学理工学部社会交通工学科
東京湾防災都市壁構想

福島 遥平 千葉大学工学部都市環境システム学科
LAQUER
倉庫をコンバージョンした都市型集合住宅のかたち

高校の部

千葉県立市川工業高等学校 建築科

目黒祐己 ABIKO OKANOUE ART MUSEUM

今野 桜 ちよびっと Rich な Hotel

渡辺秀人、伊藤 光、及川雅紀、木野内大輔、
熊谷圭祐

本八幡再開発事業

菅股 篤、吉田勇作、池田晃将、井之口和洋
住宅換型の製作

石川智、菊地清隆、高山祐一、林純、細野貴浩、
行迫宏章、猪又一誠、大越成純、大月隆也、
小瀧誠人、津村智勇、目黒祐己

木造住宅耐震診断ボランティア

(建築科) 津村智勇、池田晃将、長谷川沙綾、

岡本章二郎、横山祐樹 (インテリア科) 鈴木綾香、

高木直也、林卓鷹、野坂京子

ネパール王国第三次技術ボランティア隊

千葉県立東総工業高等学校 建設科

磯部 将、石田洋平 橋梁模型

渡辺紗矢 木造2階専用住宅

平野由佳 (模型協力: 岩佐辰也)

Sun Shine あったかい光の渦ちる空間

千葉県立茂原工業高等学校 建設科

伊藤真大 使いやすい図書館

田中直登 地域の複合施設

中工洋平 路線計画図の作成

—イベント—

「未来の建築家・中学生作品」



一特別審査員一

モンキー・パンチ (漫画家)

審査委員長 加藤 文男

審査員 森田敬介 / 柳田 富士男 / 柳瀬寛夫



大岩義充 / 小川真砂子 / 古里 正 / 鈴木元晴

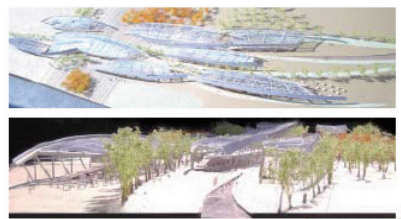
会長 寺川典秀

(会場 千葉市生涯学習センター)

19th 2007 (高校コンクールを開始)

最優秀賞

皆川 拓 千葉大学 工学部デザイン学科
漂流者たちのノード



優秀賞

中村 有希 東京理科大学 理工学部建築学科
GEOGRAPHIC ART MUSEUM
地形的空間の可能性

古賀 利郎 日本大学 生産工学部建築学科
団地ウイルス
(MP 賞)

鈴木 浩文 千葉大学 工学部デザイン工学科
TOKYO ACCELERATOR
〜トウキョウオープンカエキタイカ〜

特別賞

鈴木 佳奈 千葉大学 工学部都市環境システム学科
ただいま、ただいま、ただいま
商店街における学童保育の提案

田邊 昌基 東京理科大学 理工学部建築学科
動き出す建築 ~陰陽の流れ~

河原 一也 日本大学 理工学部海洋建築学科
都市と子どもと学校 教育環境と自然風景の融合

奨励賞
仲秋 利香 日本大学 生産工学部建築工学科
Connection with・・・
〜浜松・市民農場から広がる人と自然共生の輪〜
(MP 賞)

海老澤 知絵 千葉工業大学 工学部建築都市環境学科
LINK 池袋モンパルナス再生 Project
(MP 賞)

宮菌 博 千葉工業大学 工学部建築都市環境学科
School.net@the park ~公園をつなぐ学校群の提案~
(MP 賞)

橋岡 あずさ 東京電機大学 工学部建築学科
ツナガル、デキル

岡本 篤佳 千葉大学 工学部都市環境システム学科
ジュウニントイロのロジモヨウ

小津野 勝也 日本大学 理工学部社会交通工学科
浅草・マルチモーダルステーション構想

土川 泰明 日本大学 理工学部社会交通工学科
京都再生構想
観光・ユニバーサルデザインの視点から

小倉 美貴子 東京電機大学 工学部建築学科
トシピス

丹沢 祐太 日本大学 理工学部海洋建築工学科
つかずはなれず

天草 義仁 千葉工業大学 工学部デザイン 学科
一問一路地再生型集合住宅

金子 哲司
東京電機大学 情報環境学部 情報環境デザイン学科
むすんでひらいて

高校の部

金賞
新妻 あゆみ 千葉県立市川工業高等学校 建築科
太陽の教会

銀賞

折笠 達也 千葉県立京葉工業高等学校 建設科
MADOREX

平野 由佳 千葉県立東総工業高等学校 建設科
大黒柱に集う家

銅賞
岡本 章二郎 千葉県立市川工業高等学校 建築科
美術館〜身近に触れる緑と芸術〜

坂下 竜也 千葉県立市川工業高等学校 建築科
一笑館

辻 翔太郎 千葉県立市川工業高等学校 建築科
水と緑の美術館

高橋 大夢 千葉県立東総工業高等学校 建設科
Smile House
(展示部門)

古関健司、鈴木悠介
千葉日建工科専門学校 建築 CAD 設計科
コミュニケーションのある街

阿久津大地、井上康宏、遠藤聡志
千葉日建工科専門学校 建築 CAD 設計科
女性の出会える図書館

NGUYEN TRINH HONG VY
千葉県立東総工業高等学校 建設科
着色演習

加瀬奈緒、熱田麻実
千葉県立東総工業高等学校 建設科
自然と暮らす

宮内彩、千葉唯
千葉県立東総工業高等学校 建設科
あさがおハウス



イベント一

「未来の建築家コーナー」

一特別審査員一

モンキー・パンチ (漫画家)



審査委員長 森田敬介

審査員 星野 治 / 柳田 富士男 / 柳瀬 寛夫
石毛 満 / 沼田 正雄 / 古里 正 /
鈴木元晴

会長 加藤 文男

(会場 千葉市生涯学習センター)

20th 2008

最優秀賞

西村 祐人 千葉大学 工学部 都市環境システム学科

芽吹く切り株対立の構法を解く
縮小する大都市周縁部の住宅地再編計画
(JIA 全国大会推薦)

優秀賞

小倉 奈央子 日本大学 生産工学部 建築工学科

陸 ↔ 海 リク・ウミ ウミ・リク
～ 石垣から成る風の集落から～



小松崎 博敏

日本大学 理工学部 海洋建築工学科

farmscape 都市における農業啓発施設の提案

石川 智行 千葉大学 工学部 デザイン工学科

知層 体験としての図書館 (JIA 全国大会推薦)

特別賞

利倉 健太

東京電機大学 情報環境学部情報環境デザイン学科

EMITTER ノンバーバルコミュニケーションの発認装置
(JIA 全国大会推薦) (特別審査員賞)

中村 篤史 千葉工業大学 工学部 建築都市環境学科

風景が美術館になる時

山脇 建二 東京理科大学理工学部建築学科

非建築的音空間 second summer of love
(特別審査員奨励賞)

奨励賞

山田 展子 千葉大学 工学部 都市環境システム学科

クツヌギ まちがサザエさん一家になる
(特別審査員賞)

菅原 愛 東京電機大学 工学部 建築学科

Expression Lab

～映画・演劇・アート... 表現空間の提案-池袋西口-～

(特別審査員奨励賞)

西村 秀勇 日本大学 理工学部 海洋建築工学科

CANdy CANyo n 渋谷川の水辺・建築空間の開放

小倉 大助 日本大学 生産工学部 建築工学科

シモキタの指紋

一 下北沢再開発における街のありかたに関する提案一

今井 尚之 日本大学 理工学部 社会交通工学科

新潟・チャンネルシティー

井上 潔 東京理科大学 理工学部 建築学科

都市を貫く美術館 170mのガランドウ

伊藤 聡 明海大学 不動産学部 不動産学科

移動店舗の機動性を活かした新しいオープンスペース

鈴木 真理 東京電機大学 工学部 建築学科

ラブリング タウン

堤 雅彦

東京電機大学 情報環境学部情報環境デザイン学科

大森地区・中州プ・プロジェクト

木戸 直規 千葉大学 工学部 デザイン工学科

子どもたちの子どもたちの子どもたちへ

岡治 亜友美 千葉工業大学 工学部 建築都市環境学科

doughnuts Kagurazaka Project in the Road

高校の部

金賞

飯泉 元気 千葉県立市川工業高等学校建築科

おかさんといっしょ

銀賞

下夕村和芳+小野尾翔平+佐藤雄太

千葉県立京葉工業高等学校建設科

おらが名産 千葉のピー ナッツ

菅原 雅之 千葉県立市川工業高等学校建築科

Let's enjoy reading!

銅賞

松本 裕太 千葉県立市川工業高等学校建築科

体育館～全ての人に捧げる体育館～

佐久間 香介 千葉県立東総工業高等学校建設科

光が迎える家

(展示部門 専門学校)

古谷野 絵美 千葉日建工科専門学校 建築CAD設計科

アスレチック的演芸空間

島崎将人+楢山大輔

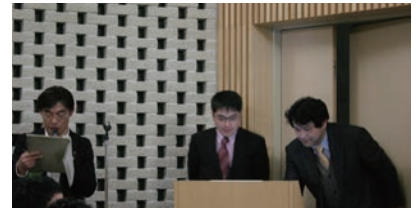
千葉日建工科専門学校 建築CAD設計科

千葉駅改修計画～広場で繋がる街と人

ーイベントー

「未来の建築家コーナー」

「歴代受章者発表会」



一特別審査員一

モンキー・パンチ (漫画家)

審査委員長 星野 治

審査員 柳田 富士男 / 柳瀬寛夫 / 石毛 満 /
沼田 正雄 / 古里 正 / 飯嶋 茂信 /
信太 義晴

会長 森田 敬介

(会場 千葉市生涯学習センター)

NAHOHANA-KAI

なの花会

第1回出展

岡松 利彦

(なの花会 会長)

千葉県建築学生賞創立 30 周年に寄せて

この度は、千葉県建築学生賞創立 30 周年おめでとうございます。

私が出展した当時（第1回出展）は「千葉県建築三会学生賞」という名称でした。

県内 4 大学 5 学科より各大学の優秀卒業設計が 2 点ずつ推薦され 10 作品が集まり、金賞・銀賞・銅賞の上位三点が選ばれたと記憶しています。

当時は現在のように大学の枠を超えた賞は少なく、今では一般的に行われている県内の大学というくり方も当時は大変珍しかったと思います。

その様な時代にこの様な機会を与えていただいた設立当初の委員の方々の素晴らしい先見性には感心するとともに大変感謝しております。

当時の作品を少し振り返ると、私は「INTELLIGENCE COMPOUND 1901」という作品で「情報」を建築化しそれを「地域の活性化」の一環につなげるというものでした。他にも、東京湾に「CASINO」施設を浮かせる案や、人類の宇宙活動をテーマとした「宇宙港」を提案されたものなど、今では当時よりリアリティを持って語られるテーマとなっている事が 30 年という月日を実感させられます。

今年 30 回を迎えた千葉県建築学生賞ですが、私にとっては出展し賞を頂くという機会に加え、そこでの素晴らしい出会いをたくさん頂くことが出来ました。

なかでも 1989 年の第一回から現在に至る千葉県建築学生賞（旧千葉県建築三会 / 四会学生賞）に出展した OB、OG で組織した「なの花会」のつながりもそのひとつです。

「なの花会」は、大学や世代の枠を超えた人と人との豊かな繋がりを創造し、幅広いメンバーの交流の場となることを目指して 2009 年 6 月に設立されました。



「なの花会」は、千葉県建築学生賞の運営サポートをはじめ、メンバー同士の様々な交流イベントなども行っています。

千葉県建築学生賞の運営サポートとして、学生賞大会への審査委員および審査コーディネーターの派遣、大会公式ポスターの製作、会期当日のサポートボランティアなどがあります。

毎年の大会公式ポスターの製作は過去の出展者からデザインアイデアを募るコンペ形式で決めています。

第 27 回大会からは「なの花会」のメンバーが選ぶ「なの花会賞」も設立されました。過去に出展した経験をもつからこそ感じ取れるもの、出展学生に近い立場にあるからこそ見えてくる視点で次世代を担う長く語り継がれる作品を発掘しています。

その他にメンバーの建築視察の報告会や勉強会、メンバーが設計、関係した建築作品の見学会、以前には 1 年間各メンバーが持ち回りで建築雑誌の表紙の挿絵も担当するなども行いました。

このような活動を通じてメンバー同士の交流を深めています。

最後に、「千葉から巣立つ学生にエールを送る」という趣旨で設立された千葉県建築学生賞の益々の発展を祈念するとともに、「なの花会」がこれからも価値ある人と人との繋がりを育む場となるよう引き続き活動していければと考えております。



第5回出展
佐久間 達也



On the Way

千葉県建築学生賞創立30周年、誠におめでとうございます。毎年審査会の開催から作品集の発行まで滞り無くとり行われ、今日に至るのは学生賞に関わってきた多くの人達の努力の賜物であり、関係者の皆様に深く敬意を表します。初期にあたる第5回に出展させていただき、またOBとして活動にも関わることができ改めて感謝申し上げますと共に、今後の継続と発展をお祈り申し上げます。

私にとって建築は、学生時代より今でも変わらず興味の尽きないものです。私の最近の仕事は予算が限られた小規模なものです、それがかえってより設計意図を明確にさせることにつながると感じています。

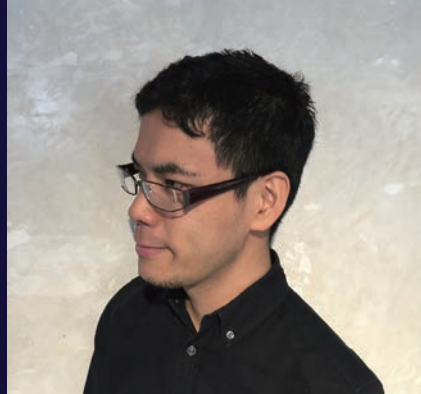


5年前に難波和彦さんが書かれたある文のなかで、現在の大きな課題が3つあることを指摘されていました。

一つ目はストック活用、二つ目は高齢者対応、そして三つ目は省エネルギーです。これらの課題は近年重要性を増してきて、個人で設計事務所を営む私も深く関わるようになってきたように感じます。この3点のうち一つ目は、主に改装や改築を指すと思われそうですが、巨人の肩のついた小人のごとくより遠くを見渡すよう、既にあるものの上だからこそ獲得できる何かがあるように思います。先人たちの作ったものを読み取り、次の時代のために利用することをポジティブにとらえて、新しいものを見いだすことができるよう意識していきたいと考えています。二つ目は、一つ目と組み合わせて考えることもできます。それは例えば、コミュニティを活性化させるため空き家を、地域の人々のハブとして再生するというアイデアです。首都圏ではない地方の人々は、人口減少と高齢化の進行に危機感をつのらせていると思います。そこで古くなり使われなくなったがまだ価値のある建築を、多世代の交流の拠点として作り直し、長い人生を共に生きることができるような充実した社会を構築することに役立たせることが望ましいと考えます。住宅の再利用は循環する社会の仕組みのひとつともいえます。そして三つ目ですが、地球温暖化を促進させている要因の一つである電気の使用量を抑える省エネルギー設計、特に住宅においては、魔法瓶のように断熱材を施しながらパッシブを兼ね備えて、今後より一層悪化していくかもしれない環境に備えつつ、室内を一体的につくり豊かな内部空間を持つ建築を目指したいと考えています。

私はできることならこれからの30年も、可能な限り建築に費やしたいと考えています。

第19回出展
皆川拓



千葉県建築学生賞 30周年に寄せて

第19回に出展し、当時の最優秀を頂いた皆川です（卒業設計『漂流者たちのノード』）。

千葉県建築学生賞が30周年を迎えたこと、過去の出展者、そしてOBとして非常に誇らしく思います。学生賞が20周年大会の際に組織されたのが、OB/OGの集まりである「なの花会」です。この組織は横のつながりだけでなく縦のつながりを育む団体ですが、私自身、学生賞への出展や「なの花会」を通じて出会った人々の関係は、今の私の大きな財産であると言えます。

現在私はAE5 Partnersという設計事務所パートナーとして仕事をしており、住宅、店舗ホテルなどの設計に携ってきました。

設計の仕事に従事していると月日が経つのが本当に早いものですが、卒業設計を通じて考えていた建築への想いは今でも強く覚えています。私の卒業設計は難民をテーマにしたものでしたが、「海外」というキーワードは今でも自分の中での大きなテーマになっており、この2018年8月から、国の制度を利用してメキシコに留学・研修をしてきます。大学に属しながら語学の修学と建築の研究をするのが主な目的ですが、社会人を経験した後の学生生活というのは本当に楽しみな事です。千葉で学んだこと、社会人として経験したことを活かし、現地での活動を実践していきたいと思っています。



学生賞が育む縁。この記事を読まれた皆様、これも何かの縁ですので是非メキシコに遊びに来てください。おいしいタコスとビール、そしてルイス・パラガンの建築と共にお待ちしております！



Special Thanks

Support member & Patron & Sponsor

Support member (歴代委員)

(一社) 千葉県建築士会

鴫田 成男 (有)ときた建築設計事務所
柴野 萬
千葉 茂
清水 怡
周郷 紀男 周郷建設(株)
石田文太郎 (株)アイビー工房建築設計事務所
寺川 典秀 (株)意匠院
高安 一夫 (株)千葉県建築住宅センター
森田 敬介 森田建築設計事務所
小川真砂子 小川建築設計事務所
大岩 義充 (有)アイム設計
小川 夏子 デザインハウスオガワ
秋山 幸 (有)秋山総合設計
星野 治 (株)潮建築設計事務所
荒井 裕三 (有)荒井設計事務所
石毛 満 (有)miISHIGE 都市デザイン研究所
森 真理恵 1級建築士事務所 森真理恵設計室
大木 健雄 (株)東宏設計事務所
信太 義晴 信太晴建築研究所
橋場 隆夫 (株)喬設計事務所
佐倉 桂 佐倉スペースデザイン
林 美栄子 林建築設計室
井上 茂寛 (有)アイビー企画一級建築士事務所
高木 俊行 一級建築士事務所 高木建築設計室
安達 文宏 (株)桑田建築設計事務所
佐藤 和裕 (株)三光建設 計画部
北島 祐子 (株)北島設計事務所
長澤 英樹 まちづくり設計舎
齋藤 敦 (株)フジプラン
堀川 成良 (株)堀川設計舎
伊藤 哲也 フジ設計
田端 友康 田端建築デザイン事務所
蒲生 良隆 (株)がもう設計事務所
飯沼 竹一 アトリエ24一級建築士事務所
萩原 進 クローバー建築設計事務所

千葉県建築設計監理協会 (1回~14回) 千葉県建築家協会 (3回~26回) (公社) 日本建築家協会関東甲信越 支部千葉地域会 (27回~)

明智 克夫 (株)榎本建築設計事務所
桑田 昭 (株)桑田建築設計事務所
麓 佳正 麓建築設計事務所
飯島 宏治 (有)飯島建築構造事務所
夏目 勝也 夏目設計事務所
柴山 謙一
岡田 成和 (株)岡田建築設計事務所
島貴 俊秀
石田文太郎 (株)アイビー工房建築設計事務所
田中 修一 (株)田中建築設計事務所
藤本 芳明 藤本建築設計事務所
横山 朝夫

村上 一孝 (株)格設計
岩崎 哲朗 (株)シテイクリエート
加倉井砂男 千葉敬愛高等学校
榎本 雅夫 (株)榎本建築設計事務所
櫻井 修 (株)桑田建築設計事務所
稗田 忠弘 (有)稗田総合建築設計事務所
佐竹 良造 (株)佐竹建築設計事務所
大岩 義充 (有)アイム設計
加藤 文男 (有)ときた建築設計事務所
古月 輝明 古月建築研究所
椛山 健治 (株)椛山建築都市総合事務所
橋場 隆夫 (株)喬設計事務所
市原 嗣久 (有)市原建築構造設計事務所
村井 一知 (株)村井建築設計事務所
井上 茂寛 (有)アイビー企画一級建築士事務所
沼田 正雄 建築事務所アルボス
宇野 武夫 (株)UCA・都市建築設計事務所
星野 治 (株)潮建築設計事務所
大和田三浩 アイズ建築計画
渡邊 哲雄 NS 設計工房
安達 文宏 安達文宏建築設計事務所
矢野 裕之 一級建築士事務所矢野裕之住環境研究所
青井 俊季 青井俊季建築設計事務所
神成 健 神成建築計画事務所
河原 泰 河原泰建築研究室
磯野 智由 STYLE LAB
柳田富士男 アーキテック パートナーズ一級建築士事務所

(公社) 千葉県建築士事務所協会

加藤 栄男
青山 靖 (有)青山建築設計
成毛 四郎
仲沢 和利 栄和設計(株) 建築事務所
根本 政明
長谷川清二郎 (株)長谷川清次郎設計事務所
中村 良広 千葉測量企画一級建築士事務所
相原 敏郎 一級建築士サン企画
宮崎 輝紘 (有)東葛一級建築士事務所
斎藤 博 株式会社フジプラン
江川 保雄 (有)江川建築設計事務所
根本 正明 アーキ・テック(株)一級建築士事務所
小林 裕 広設計
高木 憲一 (株)都市造形事務所
石塚雄希夫 生活協同組合千葉県勤労者住宅協会
斉藤 俊夫 (有)斉藤建築設計事務所
荻原 幸雄 (有)翔建築設計
泉川 安雄 泉川建築事務所
平山 幹生 (有)幹設計
内山 洋史 内山一級建築設計事務所
古里 正 (有)古里設計一級建築士事務所
山岡 豊 (株)山岡設計事務所
飯島 茂信 (株)JT&C 建築研究所
古川 民次 古川設計事務所
鈴木 元晴 (有)鈴木元晴設計室

伴流 忠夫 (有) 伴流工務店建築設計事務所
千葉 正徳 (有) 千葉建築設計事務所
大塚 慶二 (株) ウッズスタッフ一級建築士事務所
染谷 昭二 (株) 新設計
山下 勲 独楽・設計工房
伊藤 哲也 フジ設計
田端 友康 田端建築デザイン事務所
吉岡 一成 Atelier KY
大木 建雄 (株) 東宏設計事務所
布施 茂 fuse-atelier
栗本 克巳 栗本建築設計監理事務所
遠山 茂一 (有) 結設計一級建築士事務所
林 美栄子 林建築設計室
海老原智子 T.O.M 建築設計室
財部 好史 財部好史建築設計事務所
小島 広行 株式会社デ・スタイル建築研究所
井桁 正昭 (株) 日昭設計
高嶋 彰男 ATELIER PAZZO
須田 正美 NPO 法人ツバイオーデザイン一級建築士事務所

(一社) 日本建築学会・千葉支所

寺川 典秀 (株) 意匠院
家永けい子 デザインルーム T + K
榎本 雅夫 (株) 榎本建築設計事務所
加倉井砂男 千葉敬愛高等学校
岡田 成和 (株) 岡田建築設計事務所
柳田富士男 アーキテック パートナーズ一級建築士事務所
小島 聡 千葉県立市川工業高等学校 定時制建築科
市原 嗣久 (有) 市原建築構造設計事務所
柳瀬 寛夫 (株) 岡田新一設計事務所
武田 明広 千葉県立市川工業高等学校
麓 佳正 麓建築設計事務所
中野 正也 株式会社 neuf works
遠藤 啓史 京葉工業高等学校 建設科
佐藤 和裕 (株) 三光建設 計画部
鳴海 雅人 株式会社佐藤総合計画
飯沼 竹一 アトリエ 2 4 一級建築士事務所
安田 俊也 (株) 山下設計
関谷 和則 竹中工務店 東京本店 設計部

有志

佐竹 良造 (株) 佐竹建築設計事務所
安達 文宏 安達文宏建築設計事務所
桑田 浩司 (株) 桑田建築設計事務所
林 祐介 京葉工業高等学校 建設科
竹下 章治 竹下浩三設計室
青井 俊季 青井俊季建築設計事務所
鈴木 慎吾 (有) 設計同人あこーる
佐倉 桂 佐倉スペースデザイン
宮野 菊丸 アトリエ NOAH 一級建築士事務所
西崎 寿志 西崎寿志建築研究所
高野 量平 高野量平アトリエ 一級建築士事務所

古川 洋 (有) 安芸構造計画事務所
齋藤 淳 (株) フジプラン
加藤 文男 (有) ときた建築設計事務所
若林 加寿子 (株) 桑田建築設計事務所
堀川 成良 (株) 堀川設計舎
上村 康弘 アーキプレックス/ユウ
石井 勲 石井設計室
飯沼 竹一 アトリエ 2 4 一級建築士事務所
石井 和 千葉県立東総工業高等学校 建設科
富田 高之 富田高之建築設計事務所
佐藤 和裕 (株) 三光建設 計画部
貞弘 清英 貞弘構造設計事務所
岡田 学 一般社団法人千葉県建設業協会
園部 隆夫 (株) S P C 設計

なの花会 (出展者の会)

皆川 拓 AE5partners
鈴木 浩文 千葉大学大学院工学研究科 岡部明子研究室
中野 正也 株式会社 neuf works
木戸 直規 千葉大学大学院 柳沢研究室
岡松 俊彦 岡松利彦建築設計事務所
佐久間 明 エスプロダクツ一級建築設計事務所
関谷 和則 竹中工務店 東京本店 設計部
馬場 亮平 千葉大学大学院 岡田研究室
和田 彦丸 千葉大学大学院 岡田研究室
大沼 慈佳 日本大学大学院
竹田 純平 千葉大学大学院
佐々木連郎 佐々木連郎建築設計事務所
津村 祐輔 千葉大学大学院
鶴海秀一郎 千葉大学大学院
佐久間達也 一級建築士事務所佐久間達也空間計画所
堀 寛太郎 千葉大学大学院
中野 裕子
曾根岡拓路 AE5 partners
鈴木 雄介 株式会社 鈴木事務所
西山 芽衣 株式会社マイキー
伊藤茉莉子 KITI 一級建築士事務所

高等学校・専門学校

林 祐介 京葉工業高等学校建設科
小松 泰山 市川工業高等学校建築科
小関 茂雄 東総工業高等学校建設科
川名 和雄 国際理工専門学校建築設計科
田中 範明 国際理工専門学校インテリアデザイン科
宇野 浩生 千葉日建工科専門学校建築 CAD 設計科
岩城 弘和 市川工業高等学校建築科
阿部安津史 市川工業高等学校建築科
大久保 亘 市川工業高等学校建築科
小島 聡 市川工業高等学校定時制建築科
高旨 清仁 東総工業高等学校建設科
徳野 淳哉 市川工業高等学校建築科
金子 裕行 市川工業高等学校インテリア科
石井 和 東総工業高等学校建設科

泉田ひろみ 東総工業高等学校建設科
田中 和栄 市川工業高等学校建築科
首代 昌紀 東総工業高等学校建設科

協賛会幹事

平宅 武司 立川ブラインド工業 (株)
杉田 浩優 コクヨ東京販売 (株)
鈴木 周二 (株) 鈴木ユニット
恩田 恭行 (株) 恩田商工
尚和 弘樹 三協立山アルミ株式会社
種村 昭 株式会社技研基礎
黒須 洋司 株式会社日立ビルシステム
小山 修身 T O T O (株) 東関東支社
高林 敏夫 (株) 日立ビルシステム
吉原 拓 (株) 青井黒板製作所
多田 剛裕 児玉コンクリート工業 (株)
野崎 仁志 (株) 岡村製作所
鈴木 克則 児玉コンクリート工業 (株)
坂本 浩史 三和シャッター工業 (株)
山田 紀夫 (株) 青井黒板製作所
井手 剛 イトーキ千葉支店
川原 武美 (株) 恩田商工
白井 信玄 (株) 恩田商工
長田 浩昭 (株) 山藤千葉支店

事務局

矢内 美恵 千葉県建築家協会

Patron

(歴代後援)

千葉県
千葉県教育委員会
千葉市
千葉市教育委員会
千葉県工業系高大連携推進委員会
NHK 千葉放送局
千葉テレビ放送
ケーブルネットワーク千葉
千葉県ケーブルテレビ協議会
朝日新聞千葉総局
読売新聞千葉支局
毎日新聞社
産経新聞社千葉総局
日本経済新聞社千葉支局
千葉日報社
日本建設新聞社
日刊建設工業新聞社
日刊建設通信新聞社

Sponsor

(歴代協賛)

(株) 青井黒板製作所
(株) イトーキ
(株) INAX
大多喜ガス (株)
(株) 大塚商会 営業本部
(株) 岡村製作所
株式会社 角藤
(株) 川島織物
元旦ビューティ工業 (株)
(株) 建築資料研究社 / 日建学院
千葉ガス (株)
孝和建商 (株)
(株) 国際技術コンサルタンツ
コクヨマーケティング (株)
小松ウォール工業 (株) 千葉営業所
三協立山アルミ (株)
三協フロンテア (株)
(株) サンゲツ
三和シャッター工業
(株) 新光硝子工業 (株)
(株) 鈴木ユニット
(株) 須藤黒板製作所
総合資格学院
太陽工業 (株)
田島ルーフィング (株)
立川ブラインド工業 (株)
千葉ガス (株)
一般社団法人千葉県建設業協会
千葉県建設防水工事協同組合
(株) 千葉県建築住宅センター

(株) 千葉住宅サービス社
千葉県室内装飾事業協同組合
千葉県耐震判定協議会
株式会社千葉測器
津田沼サンペディック
東京ガス (株)
東京書籍
東京電力 (株)
東京ハマタイト (株)
TOTO
東リ (株)
協同組合 千葉県鐵骨工業会
ナブコシステム (株)
日本ERI (株)
日本ファイリング (株)
(一社) 日本建築構造技術者協会
JSCA千葉
(株) 日立ビルシステム
不二サッシ (株)
文化シャッター (株)
(有) ミノル商事
(株) ムトーエンジニアリング
メガソフト (株)
ユーディーアイ確認検査株式会社
リリカラ (株)
(株) レスト
YKK-AP (株)
東日本建設業保証株式会社
トステム (株)
シーエルディー (株)

日立コンシューマエレクトロニクス(株)	コニシ株式会社	(株)メント
(株) キクチ科学研究所	濱田商事(株)	リョウ-ビ株式会社
小松ウォール工業 (株)	安達文宏建築設計事務所	(株)ダイムワカイ
(株) 技研基礎	三和シャッター工業株式会社	(株)田中建築設計事務所
大成造園 (株)	(有) 荒井設計事務所	(株)意匠院
(株) 恩田商工	株式会社 LIXIL	田島メタルワーク株式会社
新栄コピーサービス (株)	ディックブルーフィング株式会社	昭和建産株式会社
株式会社ピタコラム	前田製管 (株)	(株)桑田建築設計事務所
ワタベ塗工 (株)	日本高圧コンクリート (株) 千葉営業所	武藤工業株式会社
株式会社丸昭建材	三和タジマ株式会社	藤井産業株式会社
日本オスモ (株)	昭和フロント株式会社	(株)山本工業
株式会社コスモプロジェクト	(株) セキノ興産	塚本総業株式会社
朝日スチール工業 (株)	(株) ビルテック二級建築士事務所	株式会社ブルーテクノ
(株) 国代耐火工業所	河原泰建築研究所	
山田照明株式会社	(株) かもう設計事務所	
株式会社千葉中央建工	(株) 格設計	
コイズミ照明 (株) 千葉営業所	(株) 礎積算	
ジオテック株式会社	エスケー化研 (株)	
(株)エフ・ピー・エス	西松建設株式会社	
ORSC 外壁フレーム研究会	明智 克夫	
株式会社丸昭建材	三協立山株式会社三協アルミ社	
不二装備工業株式会社	有限会社佐藤建基	
株式会社ナルコ岩井	(有)巴工業	
コトブキシーティング株式会社	有限会社松原組	
(株) 千興商事	有限会社アイム設計	
児玉コンクリート工業株式会社	日本ドアーチェック製造(株)	
千葉幕張ロータリークラブ	日章興(株)	
株式会社シンエーテック	日本ベース株式会社	
ロンシール工業 (株)	フルテック株式会社	
田島ルーフィング株式会社	日軽パネルシステム株式会社	

企画・発行 千葉県建築学生賞創立 30 周年記念実行委員会

会長	明智克夫
代表役員	清水怡
顧問	麓佳正
参与	櫻井修
相談役	宇野武夫
監査役	佐竹良造
委員長	寺川典秀
編集長	星野治 記念誌 古里正・安達文宏・小島聰・岡田学・田端友康
記念式典	森田 敬介・加藤文男・大岩義充・柳田富士男・神成健
なの花会	中野正也・皆川拓
協賛会	鈴木周二・平宅武司
事務局	公益社団法人日本建築家協会千葉地域会 矢内美恵
	〒 260-0013 千葉県千葉市中央区中央 4-8-5 建築会館 5F
	TEL 043-225-7881
発行年月日	2018 09 29
編集 & デザイン	田端友康 (田端建築デザイン事務所)

主催者団体

“わたしたちは、千葉の建築学生を応援しています。”

(公社) 日本建築家協会 (JIA) 千葉地域会

Tel: 043-225-7881

建築の設計監理を行う千葉県内の建築家の団体。会員は、日本建築家協会の会員。専門建築設計事務所の主宰者、共同者、所員、官公庁、学校等に所属する建築家。

(公社) 千葉県建築士事務所協会

Tel: 043-224-1640

建築士法により開設された建築士事務所の団体。会員は、建築設計事務所、建設会社の設計事務所、工務店設計事務所、不動産会社設計事務所、プレハブ業建築設計事務所等。

(一社) 千葉県建築士会

Tel: 043-202-2100

建築士法により設立された一級建築士、二級建築士、木造建築士の団体。会員は、建設業、設計事務所、工務店、官公庁、学校、建材業、不動産業、プレハブ業に勤務する建築士。

(一社) 日本建築学会 関東支部 千葉支所

Tel: 043-202-2100

建築に関する学術・技術・芸術の促進発展を目的とする法人。全国に9支部36支所。会員は、研究教育機関、設計事務所、建設業、官公庁、公社公団、メーカー、コンサルタント、学生等多岐にわたる。

千葉県建築学生賞協議会

CHIBA ARCHITECTURE GRADUATE'S PRIZE 2018